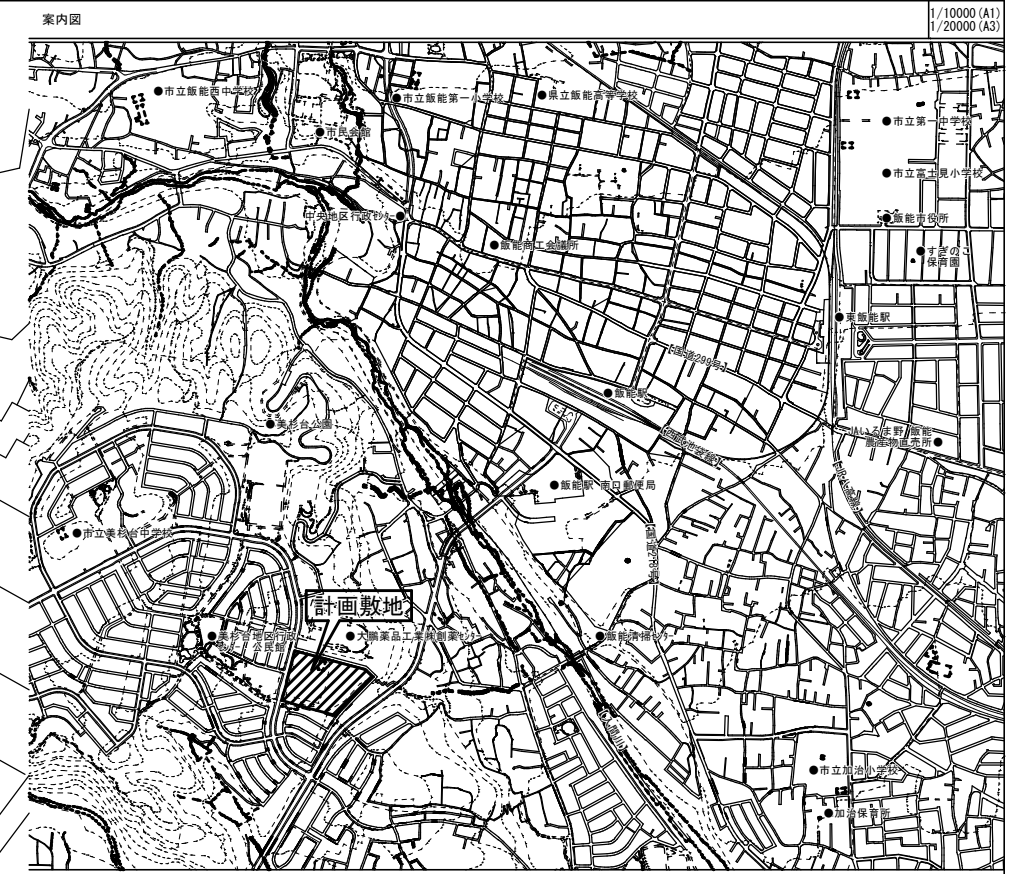
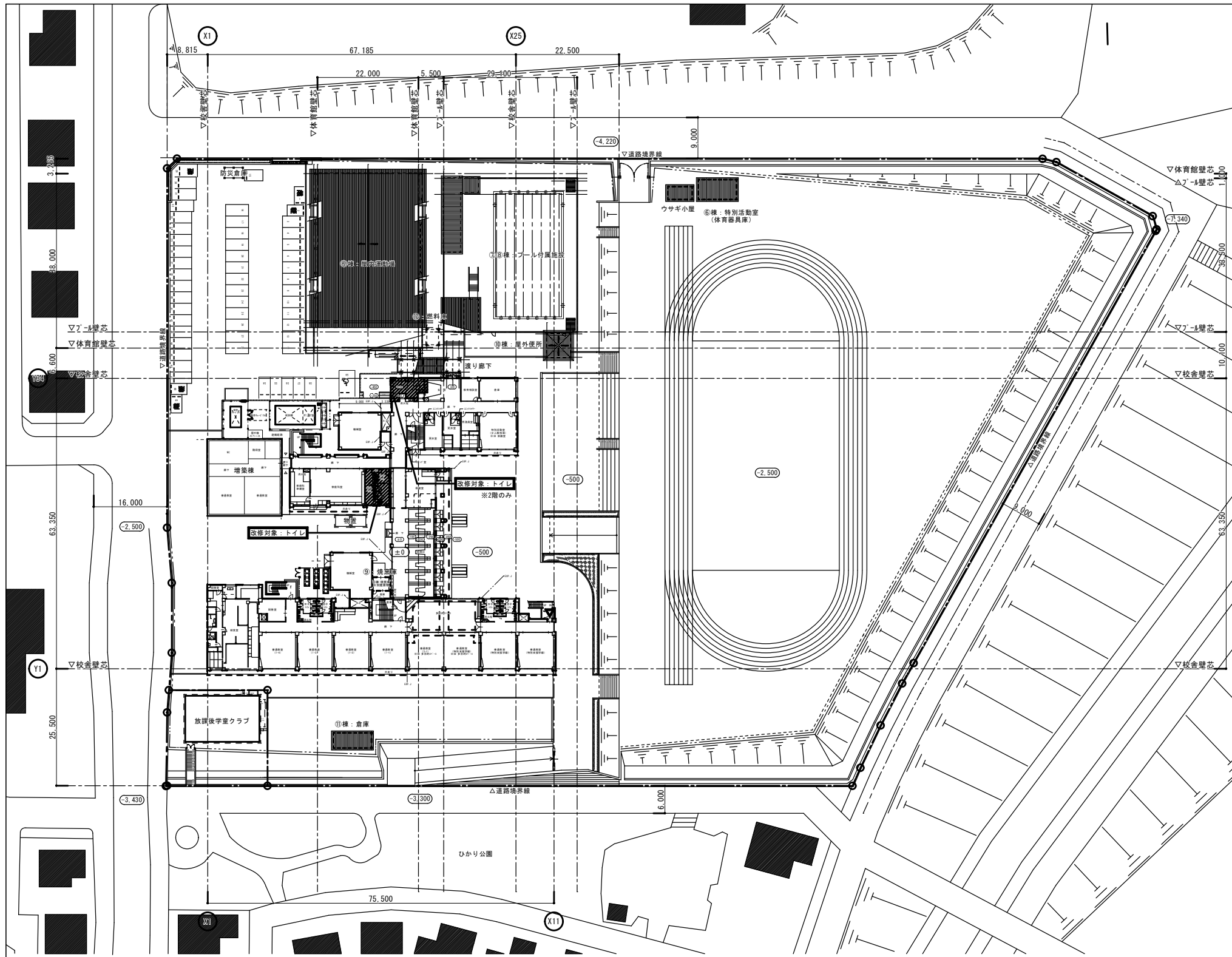


○ 空気調和設備	1 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏期 36.8℃</td> <td>48.6%</td> <td>28℃</td> <td>50%</td> <td>℃</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>冬期 0.3℃</td> <td>36.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>℃</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期 36.8℃	48.6%	28℃	50%	℃	℃	冬期 0.3℃	36.7%	20℃	%	℃	℃	1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 ・ アンクルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	● 給水設備	① 配管材料 配管材料は ※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンドア内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>・ H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> </table>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PPD ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンドア内配管	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PPD	地中埋設部（水道直結部分）	・ H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（PE）	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）	便所天井内、PS内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管	① 配管材料 ・ 露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ ポリブテン管（さや管ヘッダー工法） ② 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ③ 弁 類 (1) 規格は JIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-Iによる。 ④ ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS室内設置の潜熱回収型 ⑤ 電気給湯器 取用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
	外 気		屋 内																																																	
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																														
	夏期 36.8℃	48.6%	28℃	50%	℃	℃																																														
	冬期 0.3℃	36.7%	20℃	%	℃	℃																																														
	施工箇所	管種別																																																		
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PPD ・ ポリブテン管																																																		
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンドア内配管	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																		
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PPD																																																		
	地中埋設部（水道直結部分）	・ H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																		
	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																		
	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）																																																		
	便所天井内、PS内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																		
	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																		
	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																		
	その他の部分	※SUS ・ SGP-PPD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																		
	2 総合試運転調整	※本工事 ・ 別途 風量調整 ※する ・ しない 水量調整 ※する ・ しない 騒音の測定 ※する ・ しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・ しない 室内気流及びじんあいの測定 ・ する ・ しない 初期運転状態の記録 ※する ・ しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・ しない	● 換気設備	② 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注)1 使用区分は図示による。	○ 給湯設備	1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・ STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 消火用 一般配管※SGP（白） ・ STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370（白）Sch40 ・ STPG370（白）Sch80																																														
	3 煙 道	(1) 鉄板厚 ※3.2mm ・ 4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・ 設けない	3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	③ 風量測定口 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びフロッパーは雨水が滞留しないようにする。	○ 消火設備	2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（ ・ (a) ・ (b) ・ (c))																																														
4 煙 突	※別途 ・ 本工事	④ チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びフロッパーは雨水が滞留しないようにする。	④ チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びフロッパーは雨水が滞留しないようにする。	○ ガス設備	① 配管材料 C都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・ 液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP（白） 地中埋設 ※ PE管 ② ガス漏れ警報 遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 ③ 液化石油ガスの供給管 ガス設備工事の施工者にガスの供給管は付帯しない。																																															
5 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	⑤ ダンパー (1) 防煙ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）	⑤ ダンパー (1) 防煙ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）	○ 厨房設備	1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
6 円形ダクト	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注)1 使用区分は図示による。	⑥ 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける。 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠れ部ダクト 仕様はN・(R)・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による）	⑥ 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける。 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠れ部ダクト 仕様はN・(R)・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による）	○ 洗面設備	1 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	⑦ 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠れ部ダクト 仕様はN・(R)・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による）	⑦ 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠れ部ダクト 仕様はN・(R)・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による）	○ 排水設備	1 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。 ⑤ 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。 ※観メーター（※貸与品 ・ ） ・ 子メーター（※買い取り ・ ）																																															
8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びフロッパーは雨水が滞留しないようにする。	⑧ 試運転調整 風量調整 ※する ・ しない 風量測定 ※する ・ しない 騒音の測定 ※する ・ しない	⑧ 試運転調整 風量調整 ※する ・ しない 風量測定 ※する ・ しない 騒音の測定 ※する ・ しない	○ 洗面設備	2 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	⑨ 吹出口及び吸込口ボックス 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	⑨ 吹出口及び吸込口ボックス 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）	○ 排煙設備	○ 排煙設備 1 ダクト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付（・スリット形 ※スイング形） ・ 壁取付（・スリット形 ・スイング形） 3 排煙口手動開放装置 開放及び復旧方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式（遠隔操作 ・ 不要 ・ 要） 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
11 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ ※配管用炭素鋼管（黒） (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ ※配管用炭素鋼管（黒） (3) プライン管 ※配管用炭素鋼管（黒） ※断熱材被覆鋼管 (4) 冷媒管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚は、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（XAD/AGI/ln/A/G 相当品） ・ 耐火二層管VP（FDPS-1） ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管（黒） (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒）Sch40 ・ ステンレス鋼管 運 管 ※圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管（白）	○ 自動制御	○ 自動制御 1 中央監視制御装置 ・ 有り ※無し 2 構成・機能 図示による 3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠れ電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
12 弁 類	規格は JIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	○ 衛生器具設備	○ 衛生器具設備 ① 小便器用節水装置 JIS B 2026（自動水栓）による電気開閉式と、小便器（※一体形・分離形）とする。 ② バリアフリー対応 ○小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事） ○洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・ レバー式水栓（一部） ・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式 ※スライドバー ・ フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・ 鏡 ※600×800（耐食鏡） ・ 傾斜鏡（・照明無 ・ 照明付）	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
13 温度計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	③ 衛生器具付属水栓 (1) 器具付属水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	③ 衛生器具付属水栓 (1) 器具付属水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
14 圧力計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	④ 自動水栓類の電源 ※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電	④ 自動水栓類の電源 ※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
15 瞬間流量計	瞬間流量計はビーター方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・ 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・ 空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。	⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電	⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電	⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																														
16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※漏減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	⑥ 大便器洗浄・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式（※センサー式 ・ タッチスイッチ式） ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動性を確認し、必要に応じ低圧形とする。	⑥ 大便器洗浄・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式（※センサー式 ・ タッチスイッチ式） ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動性を確認し、必要に応じ低圧形とする。	⑥ 大便器洗浄・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式（※センサー式 ・ タッチスイッチ式） ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動性を確認し、必要に応じ低圧形とする。	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																														
17 冷却塔	※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	⑦ 排水器具用ゴム継手 ※使用できる ・ 使用できない	⑦ 排水器具用ゴム継手 ※使用できる ・ 使用できない	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															
18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） (注)1 R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注)2 R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	⑧ 標 記 板 大便器、小便器の洗浄水用雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 ⑨ 水せっけん入れ せっけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。 ⑩ 擬音装置 ・ 女子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ・ 男子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ・ 多目的トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ⑪ そ の 他 衛生設備器具の適用等の必要なることは別途衛生設備器具表による。	⑧ 標 記 板 大便器、小便器の洗浄水用雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 ⑨ 水せっけん入れ せっけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。 ⑩ 擬音装置 ・ 女子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ・ 男子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ・ 多目的トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ⑪ そ の 他 衛生設備器具の適用等の必要なることは別途衛生設備器具表による。	○ 洗面設備	3 洗面器の固定 洗面器等には、移動を前提とする洗面器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 3 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																															



概要 (Summary)

計画地	住居表示(工事場所): 埼玉県熊谷市美杉台一丁目29番地
地名地番	-
用途地域	第1種住居地域
防火地域	法22条区域
高度地区	-
日影規制	5mライン: 4時間、10mライン: 2.5時間、測定面: 4m
その他	-
敷地面積	24,741.00㎡ (業務特記仕様書より)
許容建ぺい率	60%
許容容積率	200%
施設名称	熊谷市立美杉台小学校
基準法用途	小学校
消防法 防火対象物 用途区分	7項 小学校・中学校・高等学校・大学等
耐火種別	耐火建築物(想定)
工事種別	改修(トイレ改修)
構造	RC造(校舎のみ)
基礎	杭基礎(校舎のみ)
規模	地上3階/地下0階(校舎のみ)
延床面積	5,755.353㎡(校舎のみ) ※既存図面より
建築面積	2,444.923㎡(校舎のみ) ※既存図面より
その他	-

建築概要-建物別 (Building Summary - Building Type)

H5確認申請時 棟名等 棟番号(台帳)	①棟 左記計					①棟 伊行防音工事 必要造		①棟 (左記合計)		②棟	③棟	④棟	⑤棟	⑥棟	⑦棟	⑧棟	⑨棟	⑩棟	合計
	④-2	④-1	③	②	①	新築時部分 (①~④-1)	増築部分 (④-2)	機械室+AD 新築時部分	機械室+AD 増築部分	①、②、③、④-1、④-2	②/A室	屋内運動場	渡り廊下	更衣室	倉庫	焼窯庫	外便所	-	
棟名(台帳)	[A棟]	[A棟]	[B棟]	[C棟]	[D棟]					校舎	-	屋内運動場	-	7-A附属施設	特別活動室 (体育器具庫)	焼窯庫	屋外便所	屋外倉庫	燃料庫
竣工年	H.6	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.6	H.1	H.6	H.6	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1	H.1
構造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	鋼板鉄	S造	木造	S造	RC造	RC造(CB造)	RC造+木造	S造	S造
延床面積	PHF	38.423	-	-	-	38.423	-	-	-	38.423	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4F	-	-	-	-	-	-	-	43.569	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3F	457.328	477.137	-	227.112	308.001	1,012.250	457.328	16.460	1,489.671	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2F	457.328	477.137	314.173	227.112	436.301	1,454.723	457.328	16.460	1,932.144	-	35.370	-	-	-	-	-	-	-
	1F	484.720	687.257	272.173	227.112	405.681	1,592.223	484.720	170.970	2,251.546	10,000	846.478	28,620	127,277	34,400	9,937	26,010	25,6725	8,5424
合計	1,399.376	1,679.954	586.346	681.336	1,149.983	4,097.619	1,399.376	203.890	54.468	5,755.353	10,000	881.848	28,620	127,277	34,400	9,937	26,010	25,6725	8,5424
建築面積	右記	右記	右記	右記	右記	1,763.795	505.085	172.410	3.633	2,444.923	10,000	895.457	28,620	127,277	34,400	9,937	26,010	25,6725	8,5424
備考	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

特記事項 (Remarks)

工事名 美杉台小学校校舎北棟トイレ改修工事(機械設備工事)

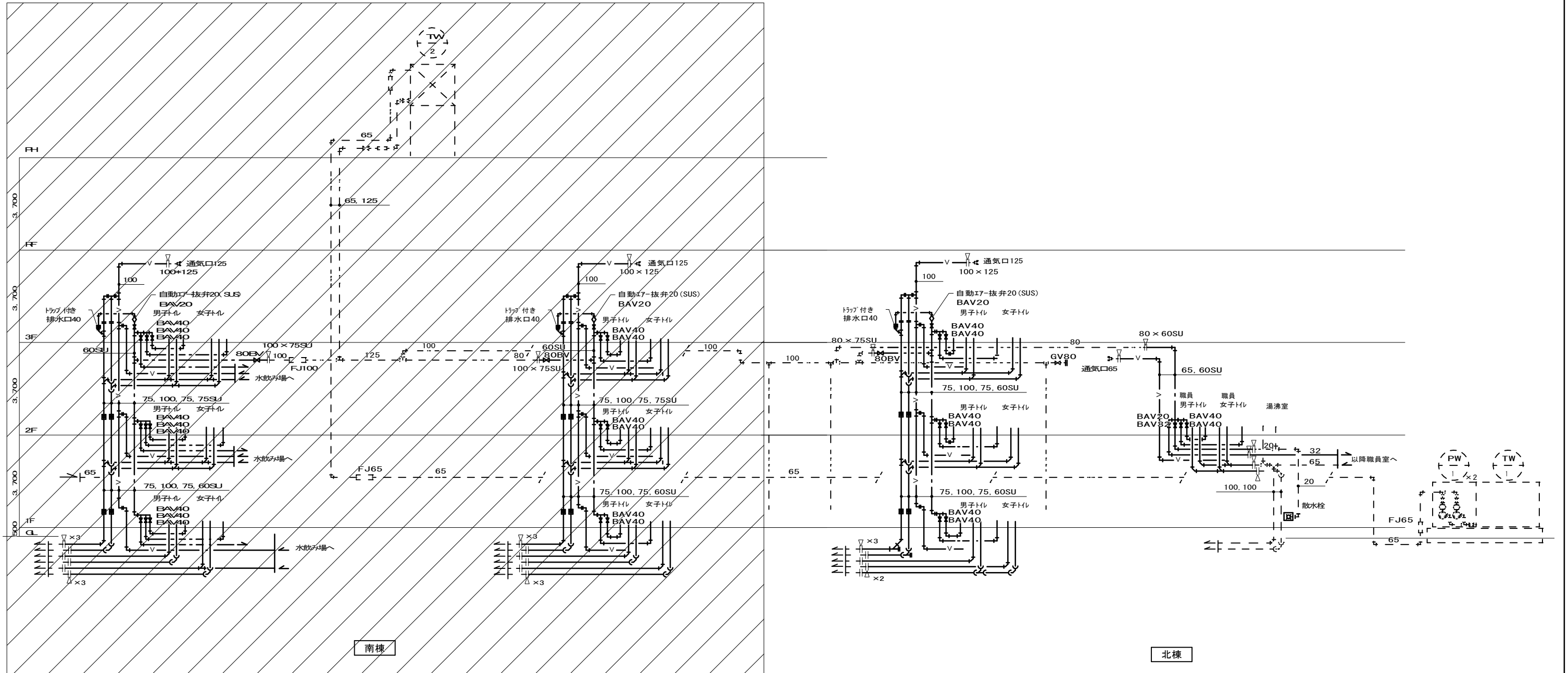
図面番号 P-004

図面名 案内図・配置図・建築概要

縮尺 1/500(A1), 1/1000(A3)

(±0) いずれも1FLからの高さを示す(±0=1FL±0) ※外構のいはいは既存確認申請図の配置図記載のいはいに、1FLから外構へのいはいを考慮している

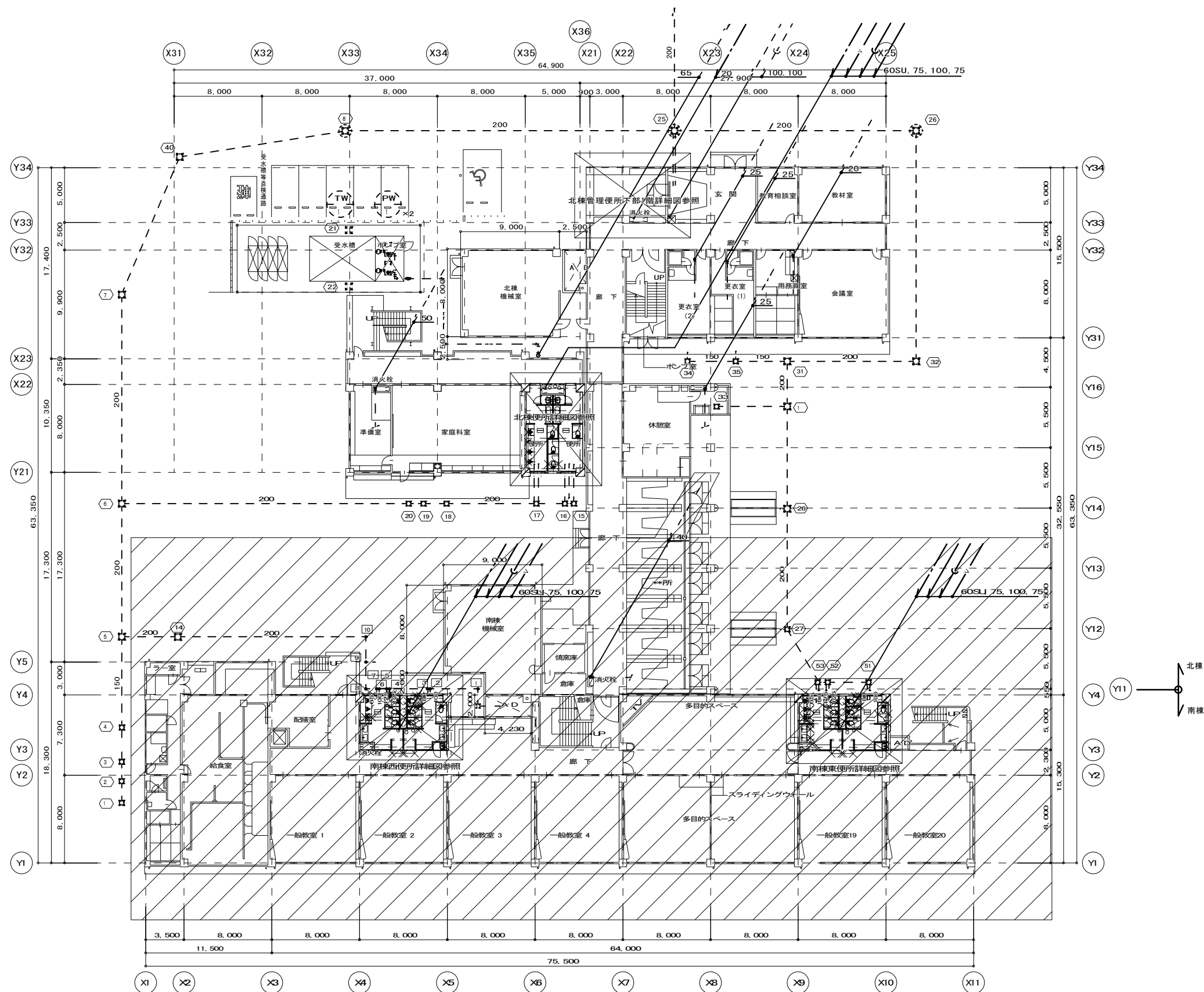
凡例			
給水管	隠蔽・露出	SU	排水継手
	地中	SGP-VD	BAV ステンレス製ボール弁
揚水管	隠蔽・露出	SGP-VA	BV ステンレス製バタフライ弁
	地中	SGP-VD	GV 既設仕切弁
汚水管	隠蔽・露出	耐火2層管	
	ビット内	RF-VP	
雑排水管	隠蔽・露出	耐火2層管	実線部分は、新設(改修)を示す。
	ビット内	RF-VP	破線部分は、既設そのまます。
通気管	隠蔽・露出	VP	既設管の切断再接続を示す(ねじ、フランジ部)
屋外排水管	地中	VP	



系統図

別途工事範囲を示す。

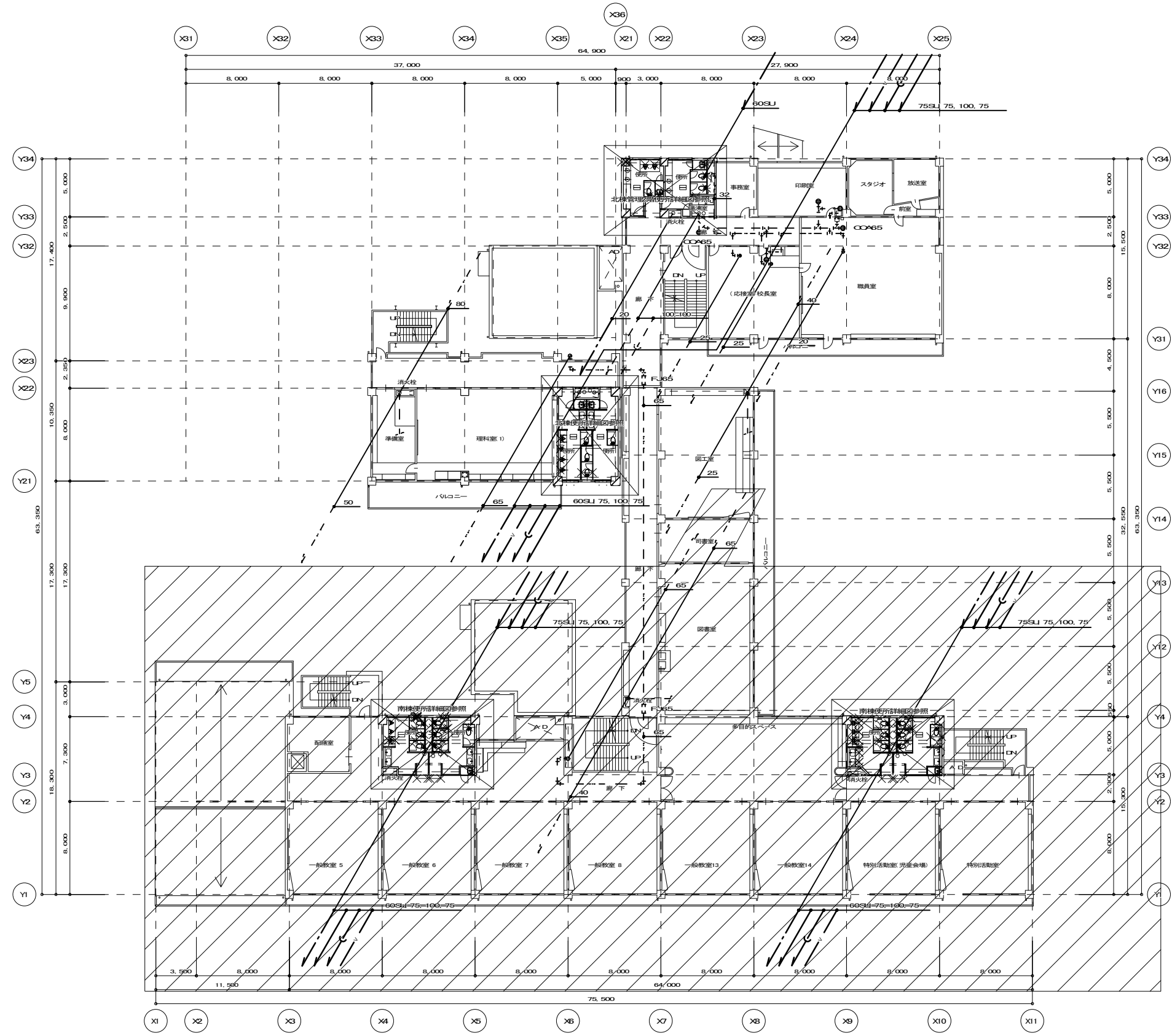
工事名	美杉台小学校校舎北棟トイレ改修工事(機械設備工事)	令和8年3月	業務番号	-
図面名	給排水衛生設備(改修) 系統図	縮尺	NS	図面番号
				P-02



1階平面図 1/200

記号	名称	形式	深さ mm	差	備考
①	インバート管	SC-1	400	MHA	
②	"	SC-1	450	"	
③	"	SC-2	470	"	
④	"	SC-2	500	"	
⑤	"	SC-3	735	"	
⑥	"	SC-3	850	"	
⑦	"	SC-3	1,090	"	
⑧	"	SC-4	1,440	"	
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭	インバート管	SC-3	685	"	
⑮	"	SC-1	400	"	
⑯	"	SC-1	420	"	
⑰	"	SC-1	440	"	
⑱	"	SC-2	560	"	
⑲	"	SC-2	590	"	
⑳	"	SC-2	600	"	
㉑	ため管	RC-1	460	"	
㉒	"	RC-1	100	"	
㉓					
㉔					
㉕	インバート管	SO-4	1,650	"	
㉖	"	SO-4	1,430	"	
㉗	"	SO-2	550	"	
㉘	"	SO-3	680	"	
㉙	"	SO-3	780	"	
㉚					
㉛					
㉜					
㉝					
㉞					
㉟					
㊱					
㊲					
㊳					
㊴					
㊵					
㊶					
㊷					
㊸					
㊹					
㊺					
㊻					
㊼					
㊽					
㊾					
㊿					
1	ガラス管インバート管	150×100 90L	360		
2	"	150×100 TY	400		
3	"	150×100 TY	405		
4	"	200×150 TY	440		
5	"	200×150 TY	445		
6	"	200×150 TY	455		
7	"	200×150 TY	460		
8	"	200×150 90L	470		
9	"	200×150 TY	490		
10	"	200×150 90L	510		

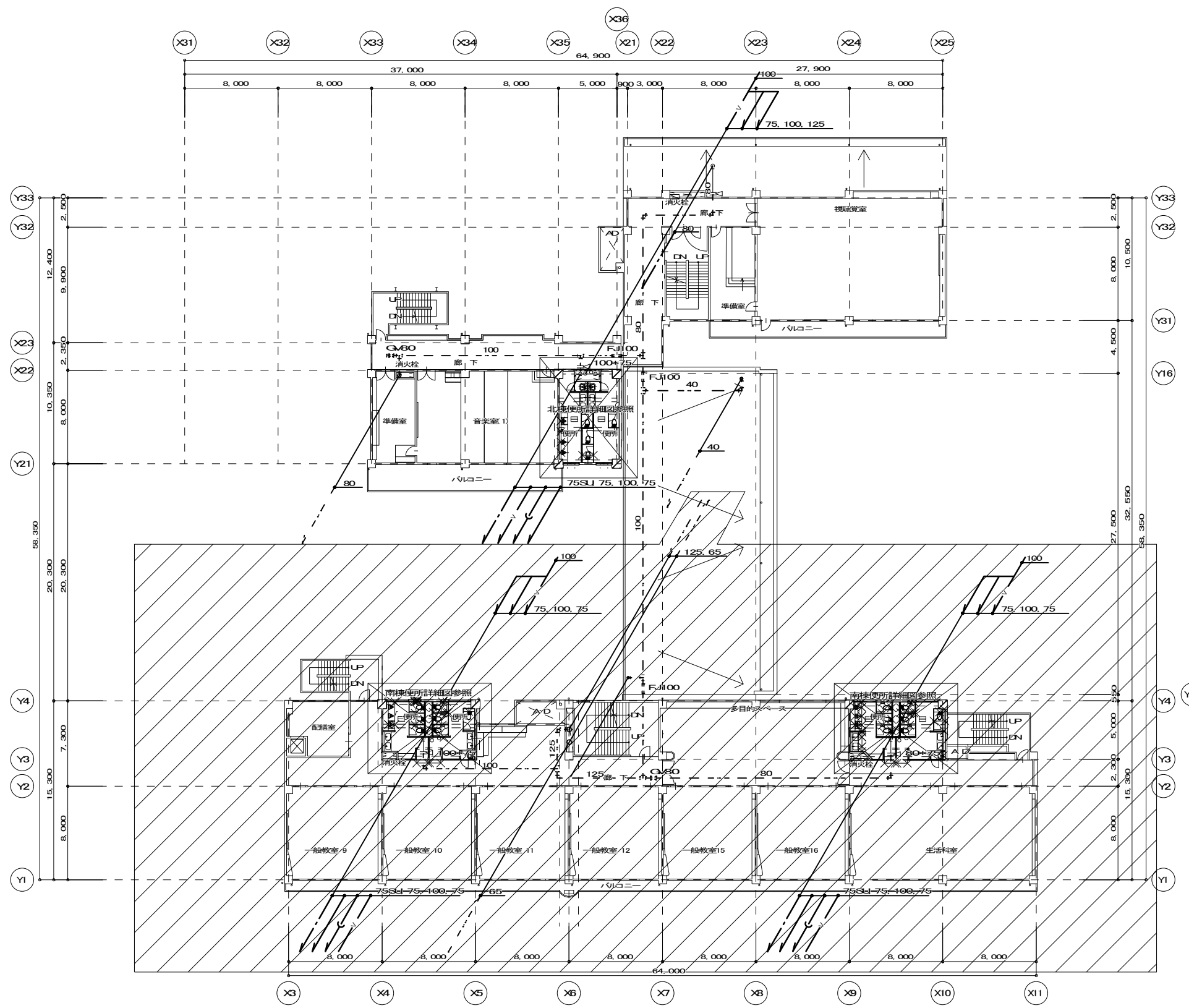
- 凡例
- 実線部分は、新設(改修)を示す。
 - 破線部分は、既設そのままを示す。
 - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
 - 別途工事範囲を示す。



2階平面図 1/200

- 凡例
- 実線部分は、新設・改修を示す。
 - 破線部分は、既設のままを示す。
 - 既設管の切断後再継ぎを示す(おし、フランジ部)
 - 別途工事範囲を示す。

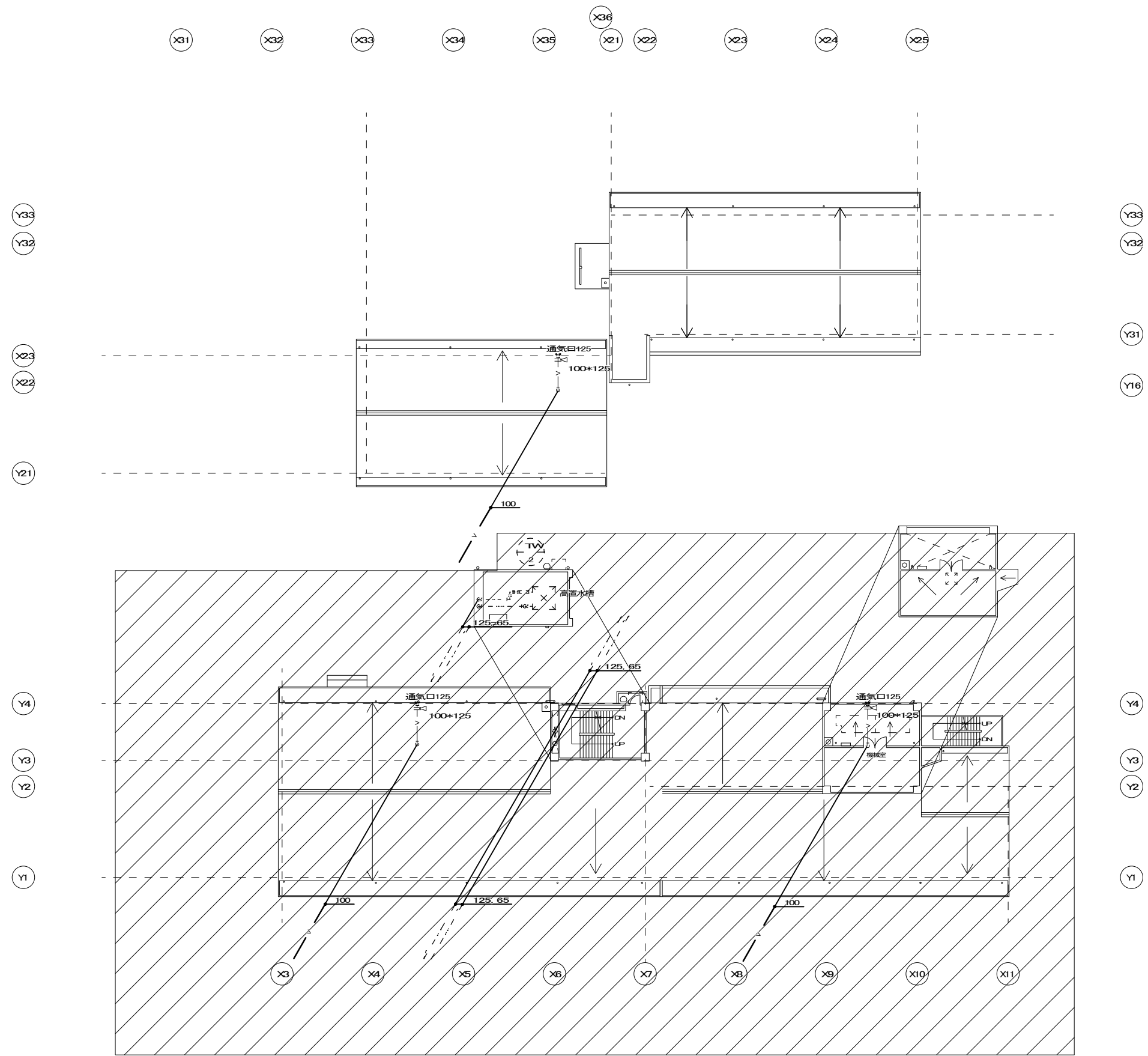
工事名		美杉台小学校校舎北棟1・2階改修工事(機械設備工事)		令和8年3月		業務号	-
納品水衛生設備		2階平面図		縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)	図面番号	P-04



3階平面図 1/200

- 凡例
- 実線部分は 新設改修を示す。
 - - - 破線部分は 既設そのまます。
 - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
 - ▨ 別途工事範囲を示す。

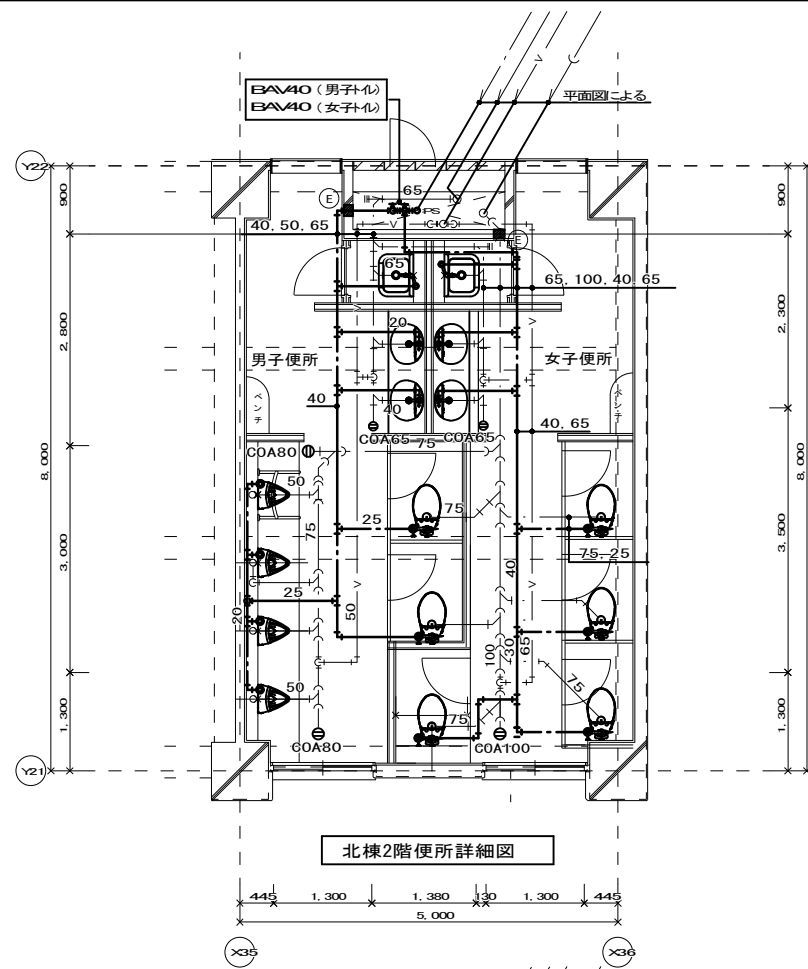
工事名 美杉台小学校校舎北棟-イレ改修工事(機械設備工事)		令和8年3月	業務番号
給排水衛生設備 (改修)	3階平面図	縮尺 1/200(A1), 1/400(A3)	図面番号 P-05



F階・F1階平面図 1/200

- 凡例
- 実線部分は 新設 改修 を示す。
 - - - 破線部分は 既設 そのまま を示す。
 - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
 - ▨ 別途工事範囲を示す。

工事名 美杉台小学校校舎北棟-イレ改修工事(機械設備工事)		令和8年3月	業務番号
給排水衛生設備 (改修)	F階・F1階平面図	縮尺 1/200(A1), 1/400(A3)	図面番号 P-06

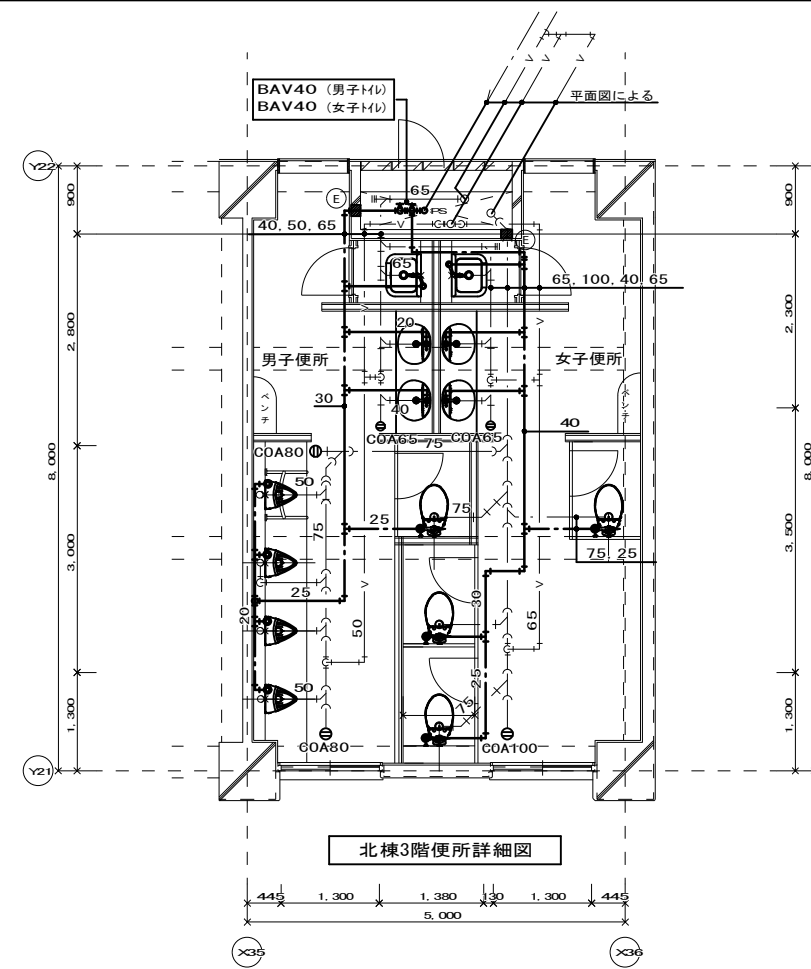


北棟2階便所詳細図

新設に伴う床穴あけ(コアドリルによる)

記号	種別	管サイズA	穴開径φmm	個数	備考
	給水	20~40	88	13	保温
	給水	50~80	150	-	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	4	
	排水	50~75	100	16	
	排水	100	150	1	
	排水	125	175	-	
(E)	既設そのまま再使用			2	

注記事項
 1) 穴あけに際し、鉄筋探査及び埋設物を確認し担当者とは協議後行う事
 2) 表記以外に於いても、施工上必要な穴あけは本工事とする

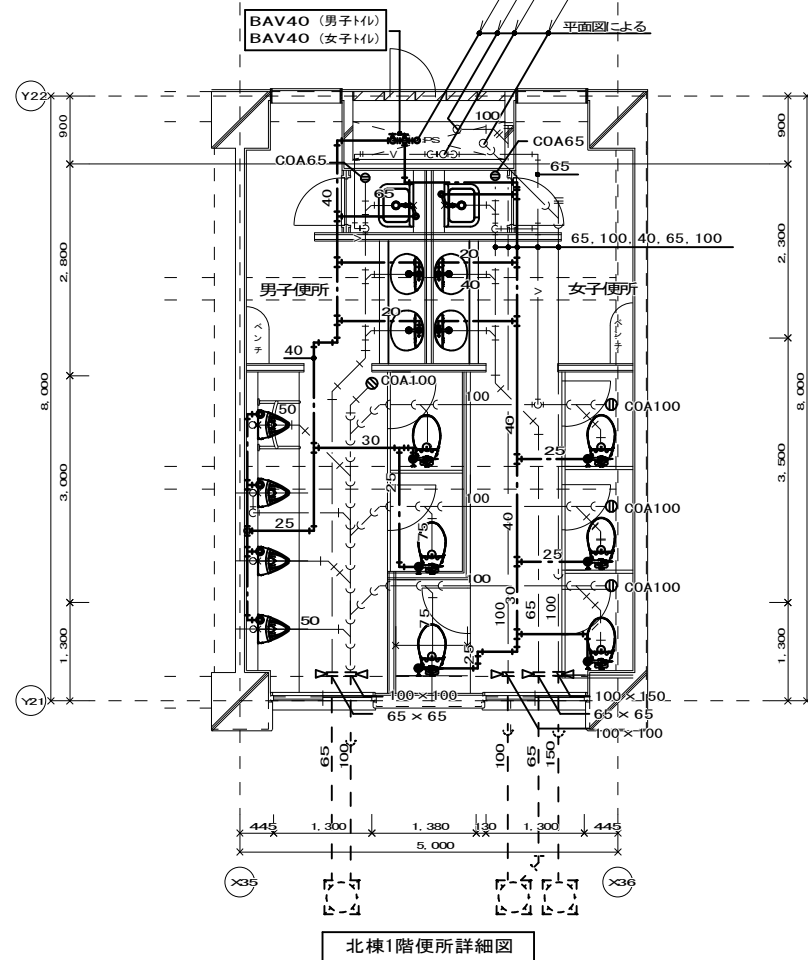


北棟3階便所詳細図

新設に伴う床穴あけ(コアドリルによる)

記号	種別	管サイズA	穴開径φmm	個数	備考
	給水	20~40	88	11	保温
	給水	50~80	150	-	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	4	
	排水	50~75	100	14	
	排水	100	150	1	
	排水	125	175	-	
(E)	既設そのまま再使用			2	

注記事項
 1) 穴あけに際し、鉄筋探査及び埋設物を確認し担当者とは協議後行う事
 2) 表記以外に於いても、施工上必要な穴あけは本工事とする



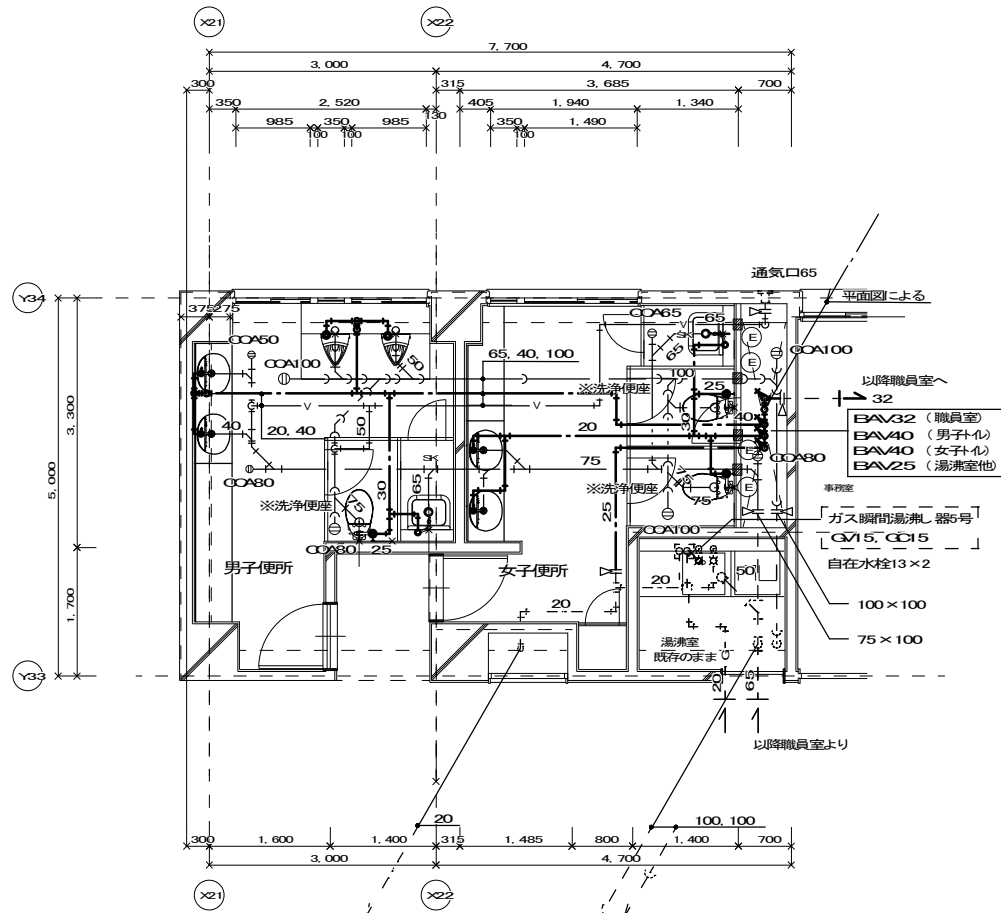
北棟1階便所詳細図

新設に伴う床穴あけ(コアドリルによる)

記号	種別	管サイズA	穴開径φmm	個数	備考
	給水	20~40	88	13	保温
	給水	50~80	150	-	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	4	
	排水	50~75	100	14	
	排水	100	150	2	
	排水	125	175	-	
(E)	既設そのまま再使用				

注記事項
 1) 穴あけに際し、鉄筋探査及び埋設物を確認し担当者とは協議後行う事
 2) 表記以外に於いても、施工上必要な穴あけは本工事とする

- 凡例
- 実線部分は、撤去を示す。
 - - - 破線部分は、既設そのままを示す。
 - | 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)

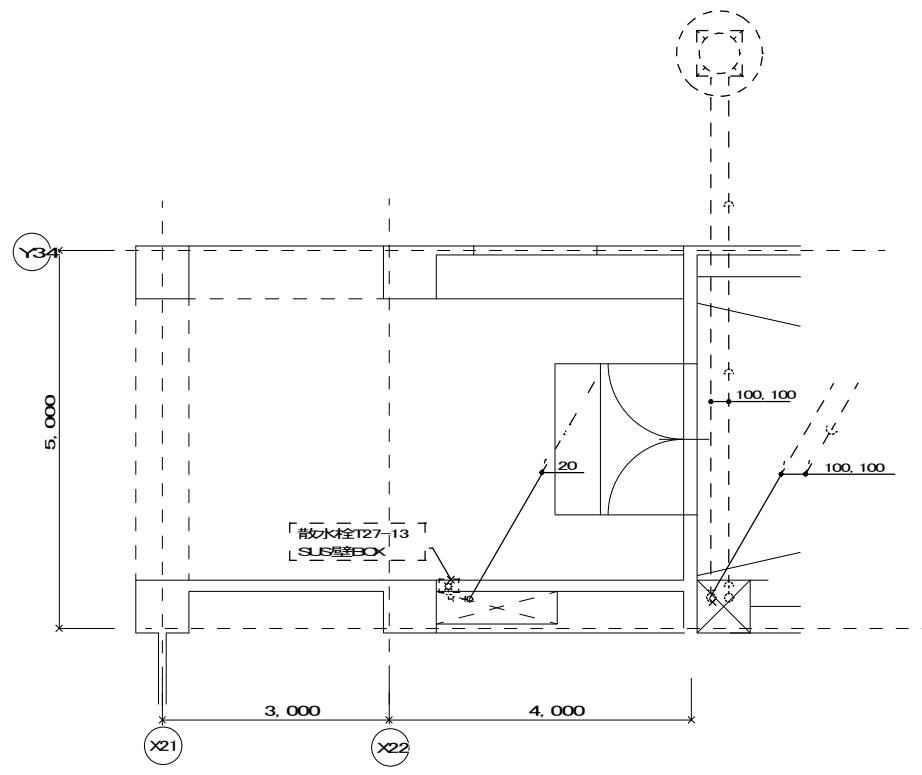


北棟2階職員用便所詳細図

新設に伴う床穴あけ(コアドリルによる)

記号	種別	管サイズA	穴開径のmm	個数	備考
	給水	20~40	88	13	保温
	給水	50~80	150	-	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	4	
	排水	50~75	100	12	
	排水	100	150	3	
	排水	125	175	-	
(E)	既設そのまま再使用				

注記事項
 1) 穴あけに際し、鉄筋検査及び埋設物を確認し、担当者とは確認後行う事
 2) 表記以外の寸法についても、施工に必要な穴あけは本工事とする



北棟職員用便所下部1階詳細図

- 凡例
- 実線部分は 撤去を示す。
 - - - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 〽 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)

撤去器具表

品名	記号 注記	付属品	北棟						計	南棟									計	合計	備考						
			1階		2階			3階		1階			2階			3階											
			女子 便所 1	男子 便所 1	女子 便所 1	男子 便所 1	職員用 女子 便所 1	職員用 男子 便所 1		女子 便所 1	男子 便所 1	女子 便所 1	男子 便所 1	女子 便所 2	男子 便所 2	女子 便所 2	男子 便所 2	女子 便所 1				男子 便所 1	女子 便所 2	男子 便所 2			
和風大便器	C375VF	節水FV, 紙巻器, 他付属品一式	2	1	2	2	1	2	1	11	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	30	41	
洋風便器	C14	節水FV, 紙巻器, 他付属品一式	1		1	1	1			5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	17	
小便器	U308	FV, 他付属品一式	4		4					12	4		4		4		4		4		4		4		24	36	
小便器	U307	FV, 他付属品一式					2			2																2	
洗面器	L230	立水栓, 止水栓, 他標準品一式	2	2	2	2	2	1		15	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	37	
掃除流し	S210	SK22A, T23AEQ20, 他一式	1	1	1	1	1	1		8	1		1		1		1		1		1		1		6	14	
化粧鏡	TS119AS3	360*450H	2	2	2	2	2	1		15	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	37	

既設機器表 既設そのまま再使用

記号	名称	能力 : 仕様	電力			台数	設置室	備考
			φ	V	KW (W)			
TW -1	受水槽	形式 : 銅板製屋外設置形(ポンプ室付) 耐震基準 2/3G タンク : 2槽式 有効水量 40.0 m3 4.0m×6.0m×2.0mH 付属品 : 外梯子, 点検用マンホール600φ, 電極座, 通気口, その他標準品一式				1	北棟屋外	
TW -2	高置水槽	形式 : 銅板製屋外設置形 耐震基準 1.0G タンク : 2槽式 有効水量 5.0 m3 2.0m×2.0m×1.5mH 付属品 : 外梯子, 点検用マンホール600φ, 電極座, 通気口, その他標準品一式				1	南棟屋外	
PW -1	揚水ポンプ	形式 : 渦巻片吸込形 能力 : 65 φ × 340 L/m × 27 m 付属品 :	3	200	3.7	2	受水槽ポンプ室	

工事名 美杉台小学校校舎北棟-イレ改修工事(機械設備工事)

図面名 給排水衛生設備
(撤去) 衛生器具表

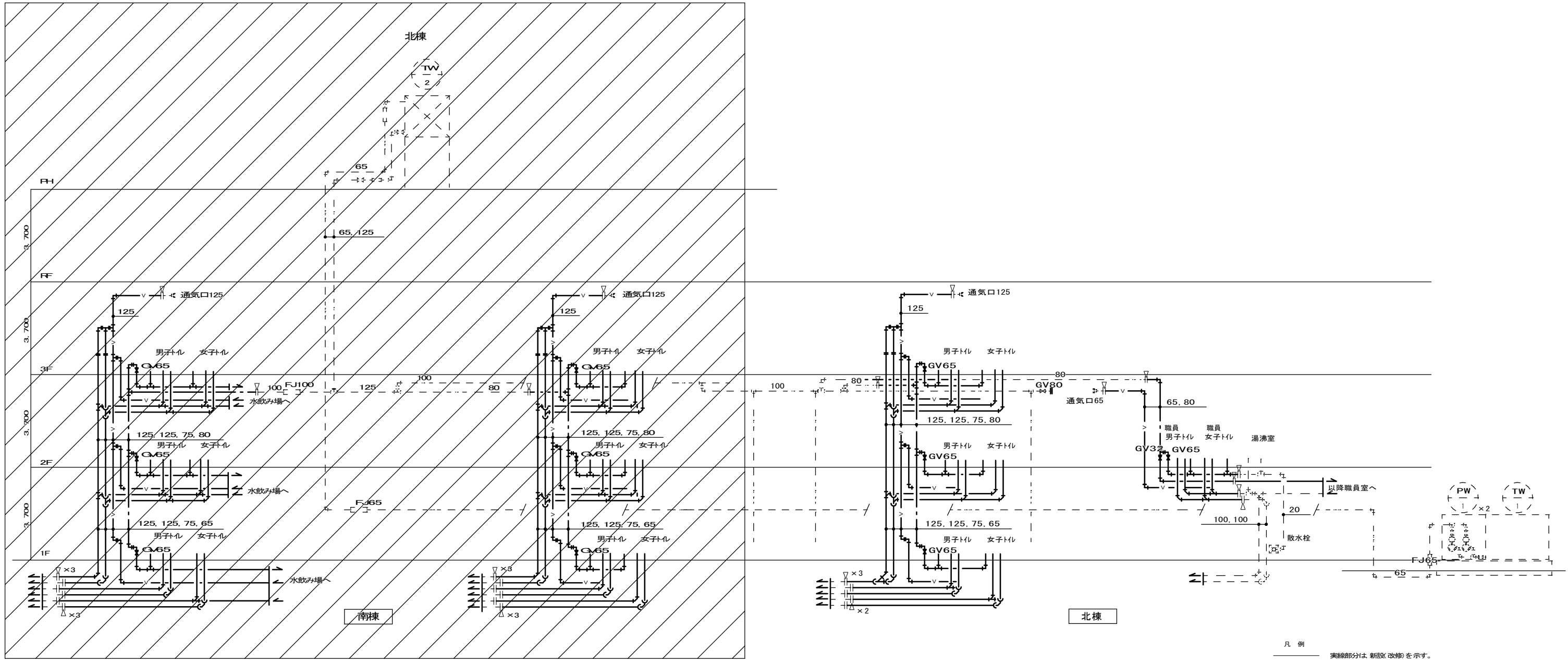
縮尺 NS

図面番号

図面番号

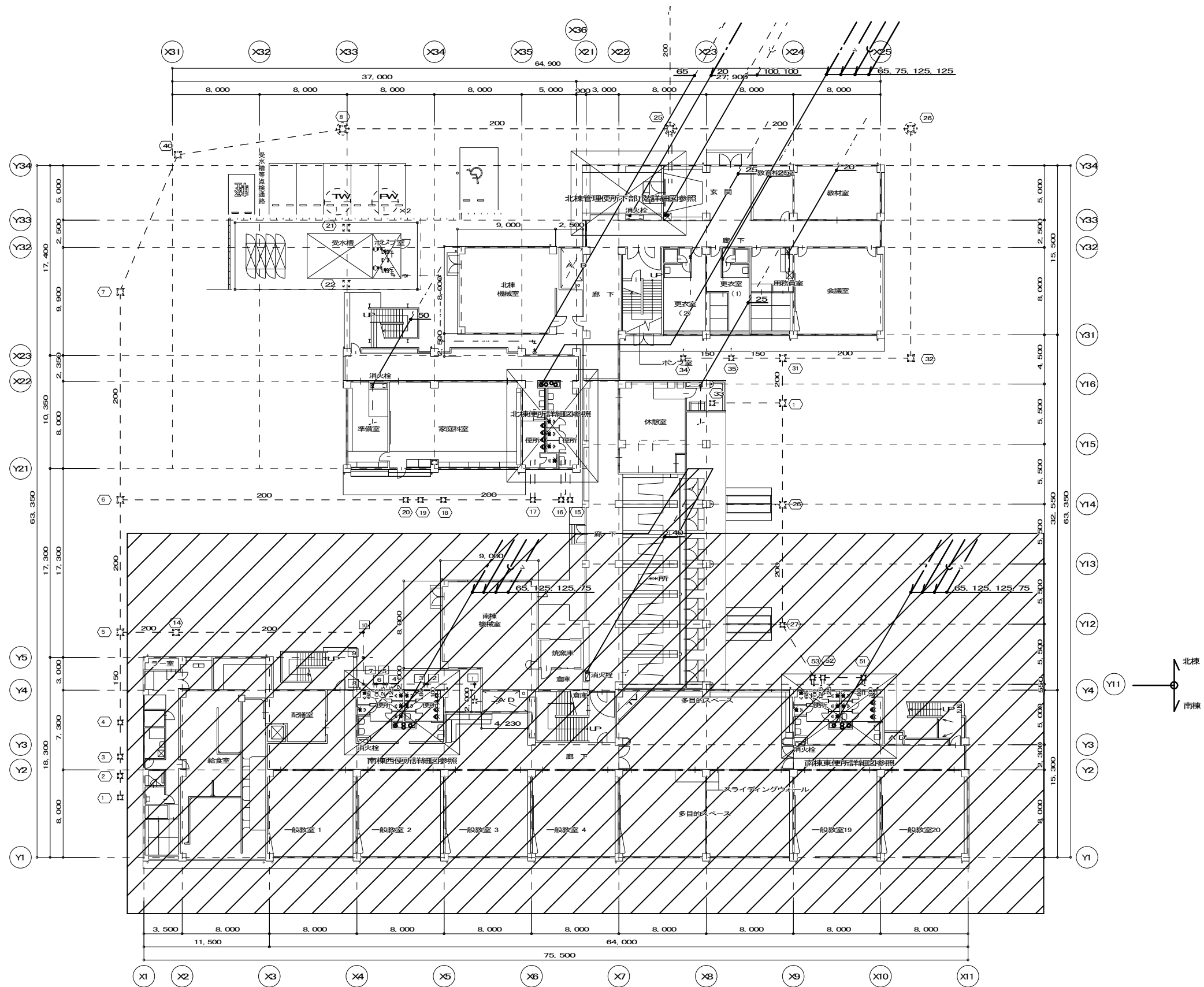
P-09

凡例							
—●—●—	給水管	隠蔽・露出	SGP-VA	— — —	給湯管	隠蔽・露出	SU
—●—●—		地中	SGP-VD	—x—x—	消火管	隠蔽・露出	SGP(白)
—●—●—	揚水管	隠蔽・露出	SGP-VA	—G—G—	ガス管	隠蔽・露出	SGP(白)
—●—●—		地中	SGP-VD			地中	PE
—C—	汚水管	隠蔽・露出	DVLP				
	衛生器具接続	排水鉛管		—	実線部分は、撤去を示す。		
—V—	雑排水管	隠蔽・露出	DVLP	- - - - -	破線部分は、既設そのままを示す。		
—V—	通気管	隠蔽・露出	VP	— — —	既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)		
—V—	屋外排水管	地中	VP				



系統図

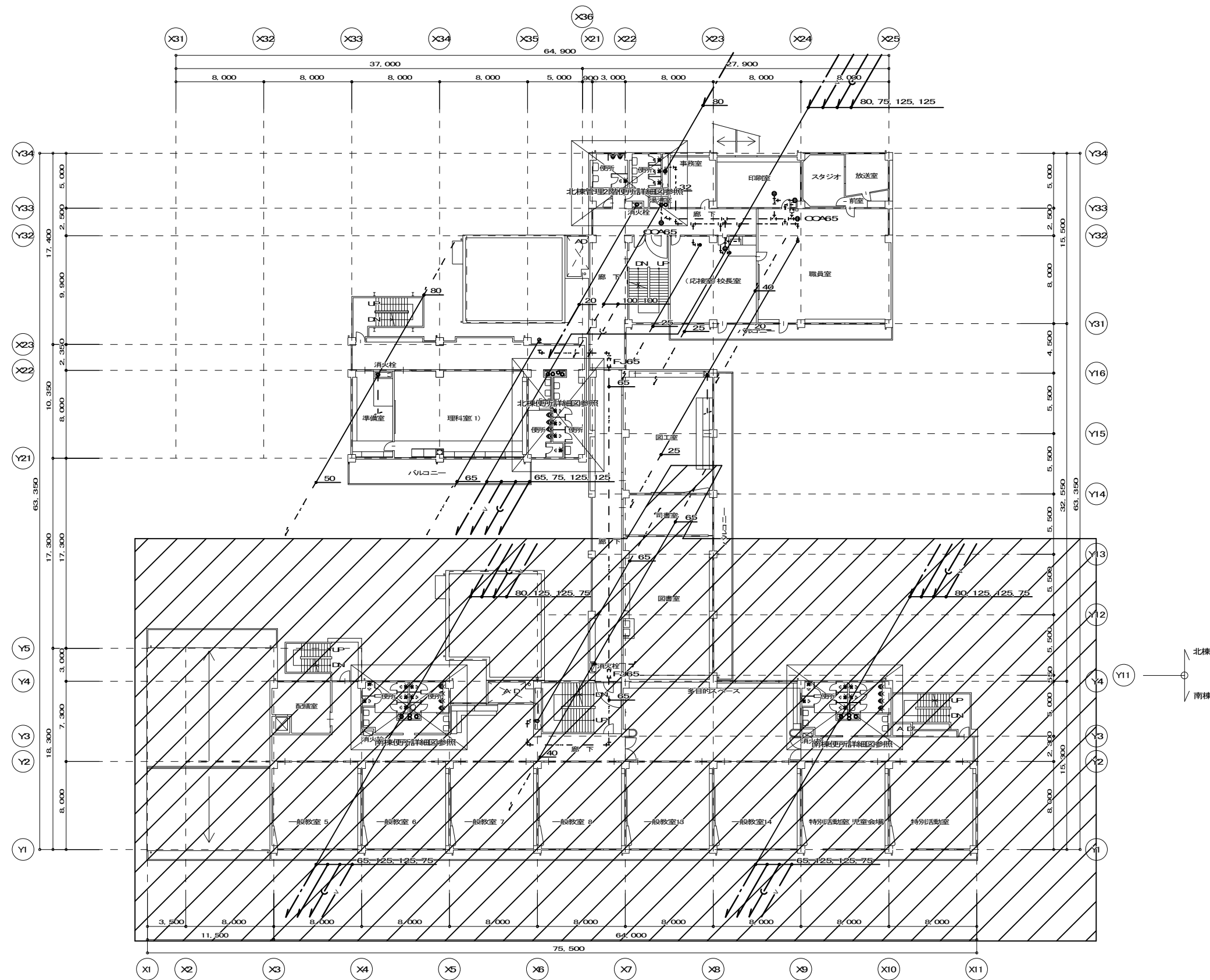
凡例	
—	実線部分は、新設(改修)を示す。
- - - - -	破線部分は、既設そのままを示す。
— — —	既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
	別途工事範囲を示す。



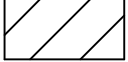
1階平面図 1/200

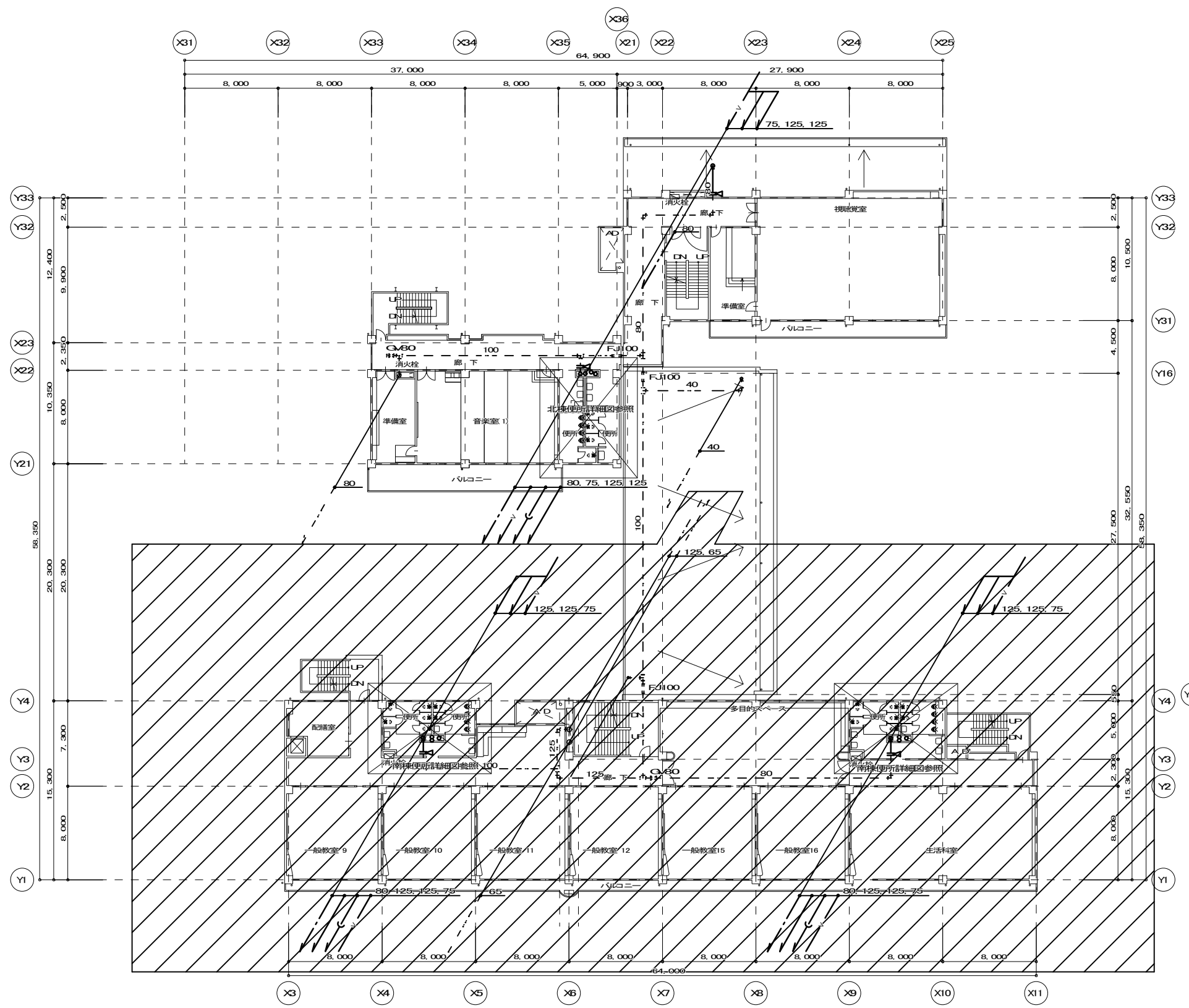
記号	名称	形式	深さ mm	差	備考
①	インバート樹	SO-1	400	N/A	
②	"	SO-1	450	"	
③	"	SO-2	470	"	
④	"	SO-2	500	"	
⑤	"	SO-3	735	"	
⑥	"	SO-3	850	"	
⑦	"	SO-3	1,090	"	
⑧	"	SO-4	1,440	"	
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭	インバート樹	SO-3	685	"	
⑮	"	SO-1	400	"	
⑯	"	SO-1	420	"	
⑰	"	SO-1	440	"	
⑱	"	SO-2	560	"	
⑲	"	SO-2	590	"	
⑳	"	SO-2	600	"	
㉑	ため樹	FD-1	460	"	
㉒	"	FD-1	100	"	
㉓					
㉔					
㉕	インバート樹	SO-4	1,650	"	
㉖	"	SO-4	1,430	"	
㉗	"	SO-2	550	"	
㉘	"	SO-3	680	"	
㉙	"	SO-3	780	"	
㉚					
㉛	"	SO-3	820	"	
㉜	"	SO-3	940	"	
㉝	"	SO-1	400	"	
㉞	"	SO-1	460	"	
㉟					
㊱					
㊲					
㊳					
㊴					
㊵					
㊶					
㊷					
㊸					
㊹					
㊺					
㊻					
㊼					
㊽					
㊾					
㊿					
1	プラスチックバネ樹	150×100 90L	360		
2	"	150×100 TY	400		
3	"	150×100 TY	405		
4	"	200×150 TY	440		
5	"	200×150 TY	445		
6	"	200×150 TY	455		
7	"	200×150 TY	460		
8	"	200×150 90L	470		
9	"	200×150 TY	490		
10	"	200×150 90L	510		

- 凡例
- 実線部分は 撤去を示す。
 - - - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 既設管の切筋後再付継ぎを示す(わじ、フランジ部)
 - 斜線部分 別途工事範囲を示す。

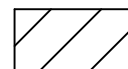


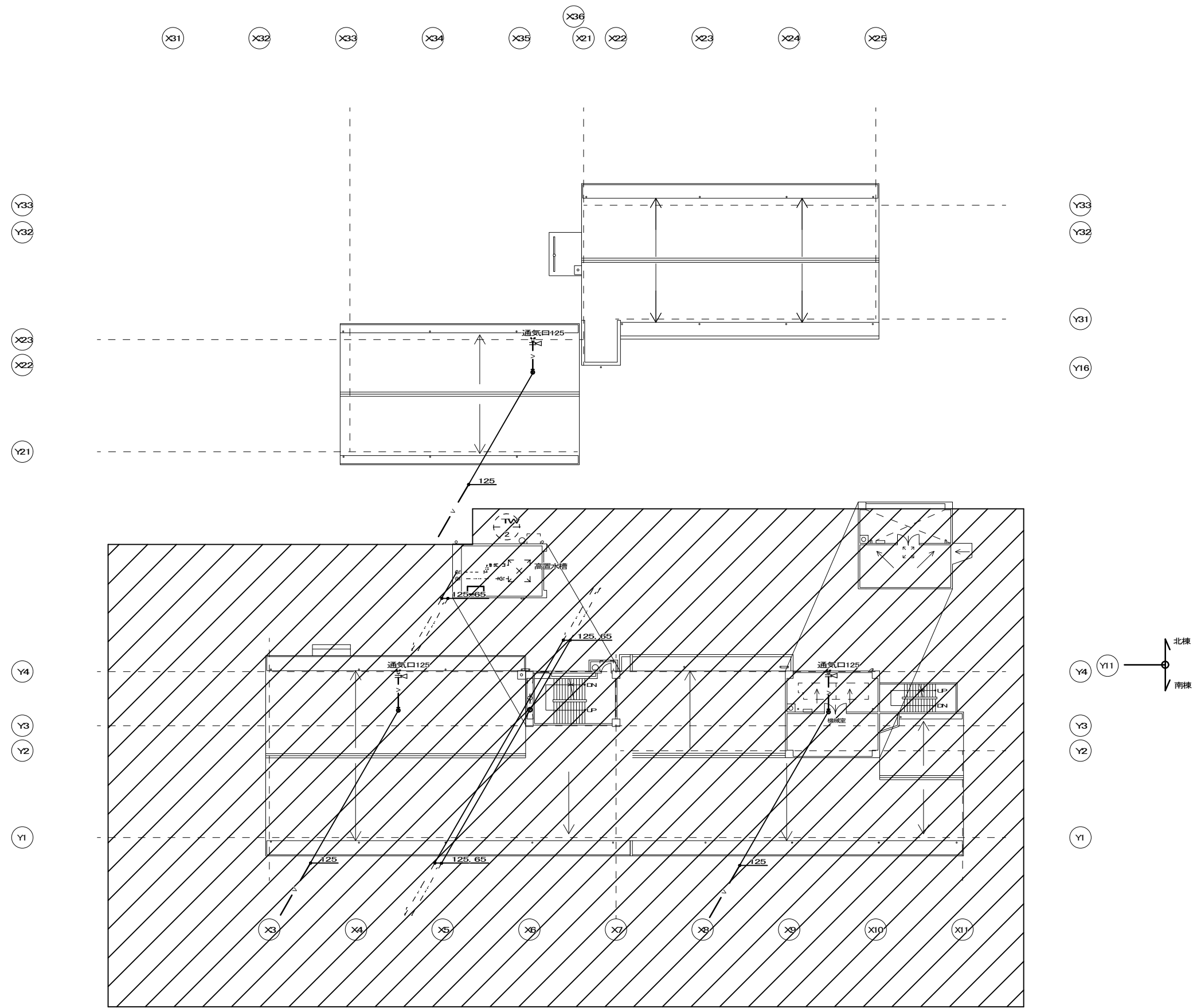
2階平面図 1/200

- 凡例
- 実線部分は 撤去を示す。
 - - - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 既設配管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
 -  別途工事範囲を示す。

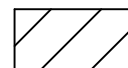


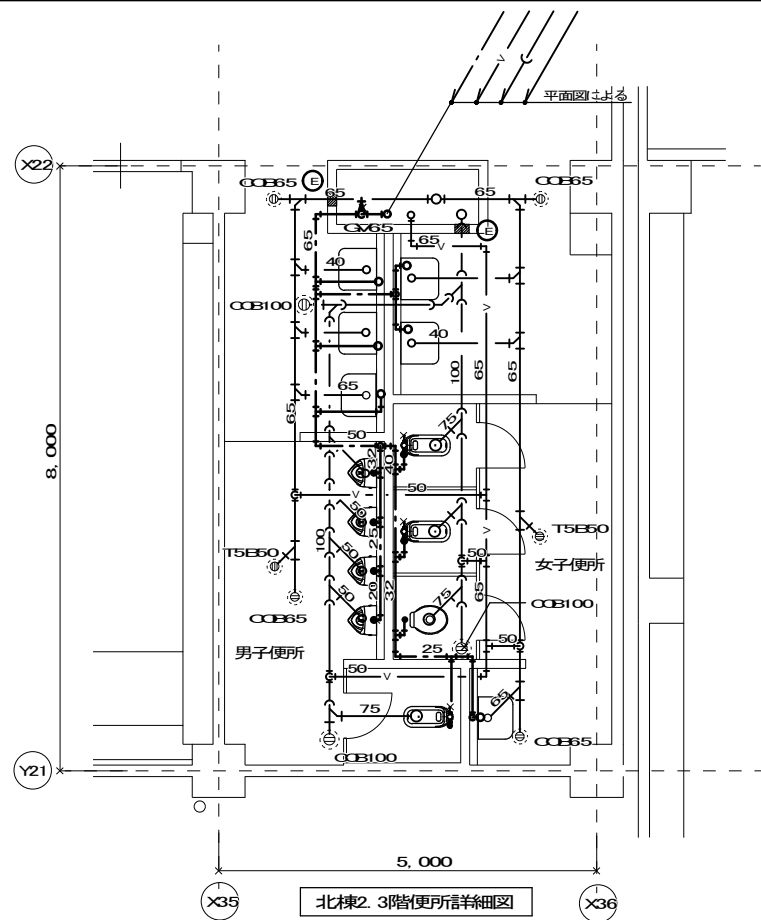
3階平面図 1/200

- 凡例
- 実線部分は 撤去を示す。
 - - - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 既設配管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
 -  別途工事範囲を示す。



R階・F1階平面図 1/200

- 凡例
- 実線部分は 撤去を示す。
 - - - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)
 -  別途工事範囲を示す。

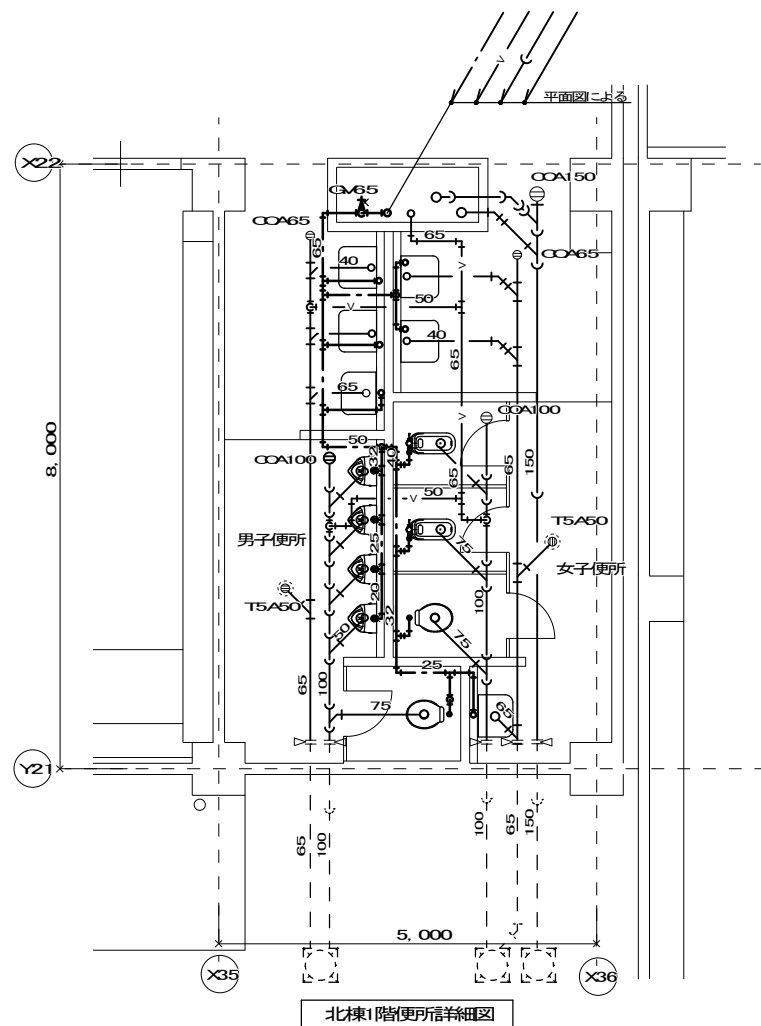


北棟2階トイレ詳細図

撤去に伴う床穴あけ(コアドリルによる)
また管撤去後床の鉄筋筋道後穴埋め(モルタル)を行う。

記号	種別	管サイズA	穴径径φmm	個数	備考
	給水	20~40	88	11	保温
	給水	50~80	150	1	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	4	
	排水	50~75	100	14	
	排水	100	150	3	
	排水	125	175	-	

- Ⓔ 既設そのまま再使用
- 注記事項
1) 上記に表記のない穴あけについても本工事に含む
2) 和風大便器の撤去穴埋めは、建築工事で施工を行う。



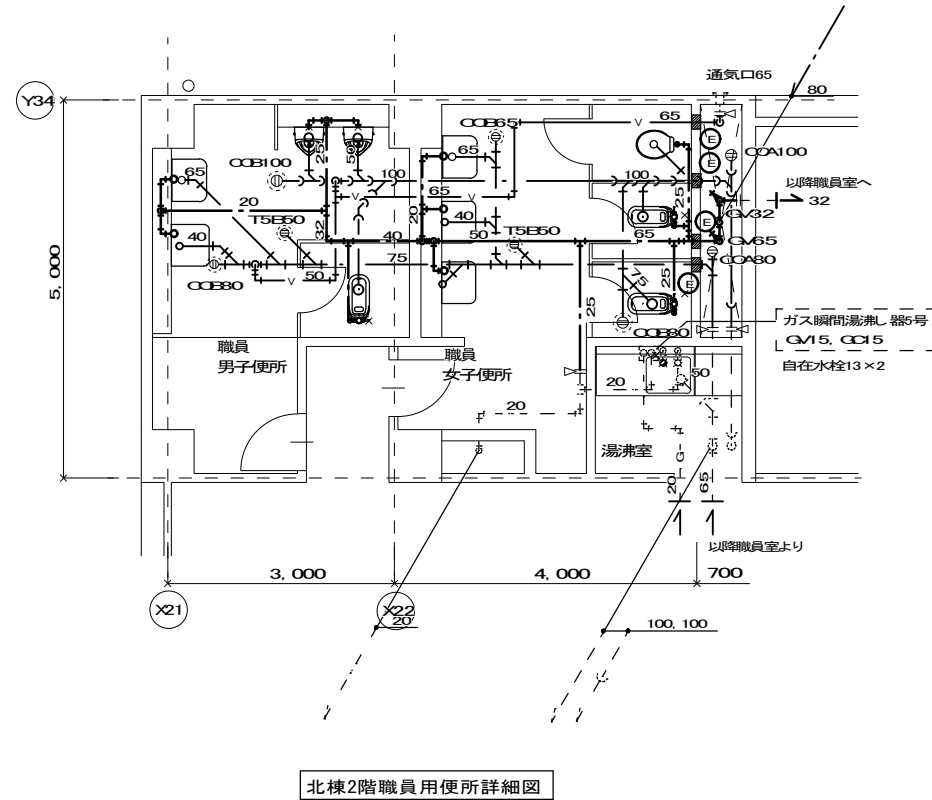
北棟1階トイレ詳細図

撤去に伴う床穴あけ(コアドリルによる)
また管撤去後床の鉄筋筋道後穴埋め(モルタル)を行う。

記号	種別	管サイズA	穴径径φmm	個数	備考
	給水	20~40	88	11	保温
	給水	50~80	150	-	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	4	
	排水	50~75	100	12	
	排水	100	150	2	
	排水	150	200	1	

- Ⓔ 既設そのまま再使用
- 注記事項
1) 上記に表記のない穴あけについても本工事に含む
2) 和風大便器の撤去穴埋めは、建築工事で施工を行う。

- 凡例
- - - 実線部分は、撤去を示す。
- - - 破線部分は、既設そのままを示す。
- - - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)

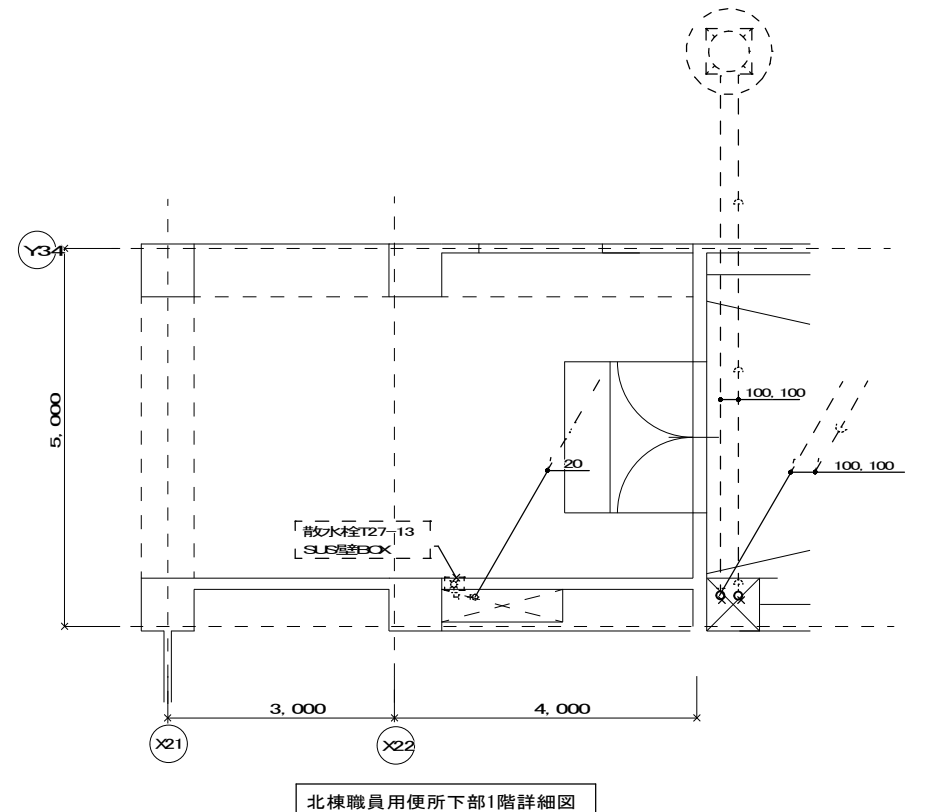


北棟2階職員用トイレ詳細図

撤去に伴う床穴あけ(コアドリルによる)
また管撤去後床の鉄筋筋道後穴埋め(モルタル)を行う。

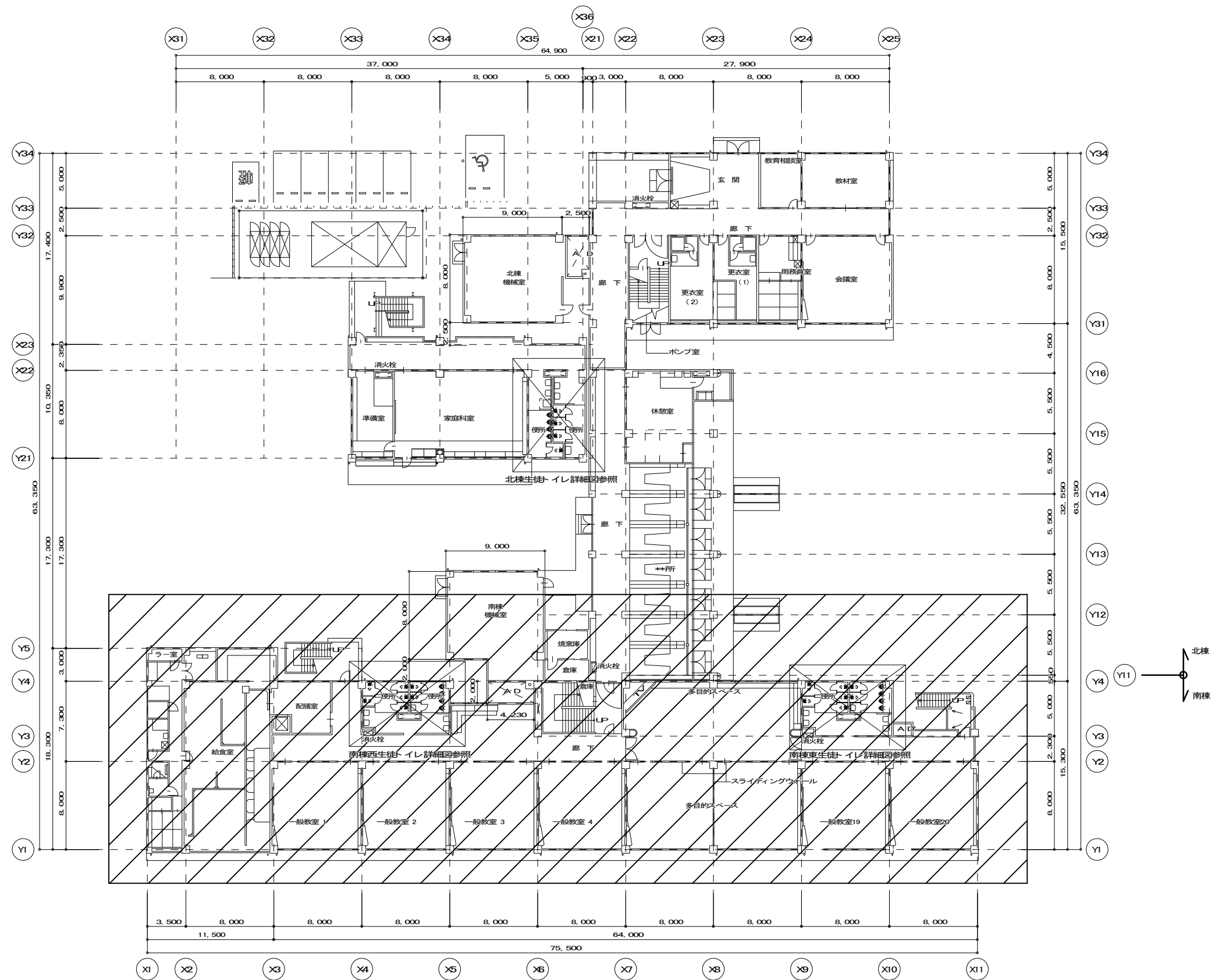
記号	種別	管サイズA	穴径径φmm	個数	備考
	給水	20~40	88	11	保温
	給水	50~80	150	-	保温
	給水	80~100	200	-	保温
	排水	32~40	63	3	
	排水	50~75	100	8	
	排水	100	150	2	
	排水	125	175	-	

- Ⓔ 既設そのまま再使用
- 注記事項
1) 上記に表記のない穴あけについても本工事に含む
2) 和風大便器の撤去穴埋めは、建築工事で施工を行う。



北棟職員用トイレ下部1階詳細図

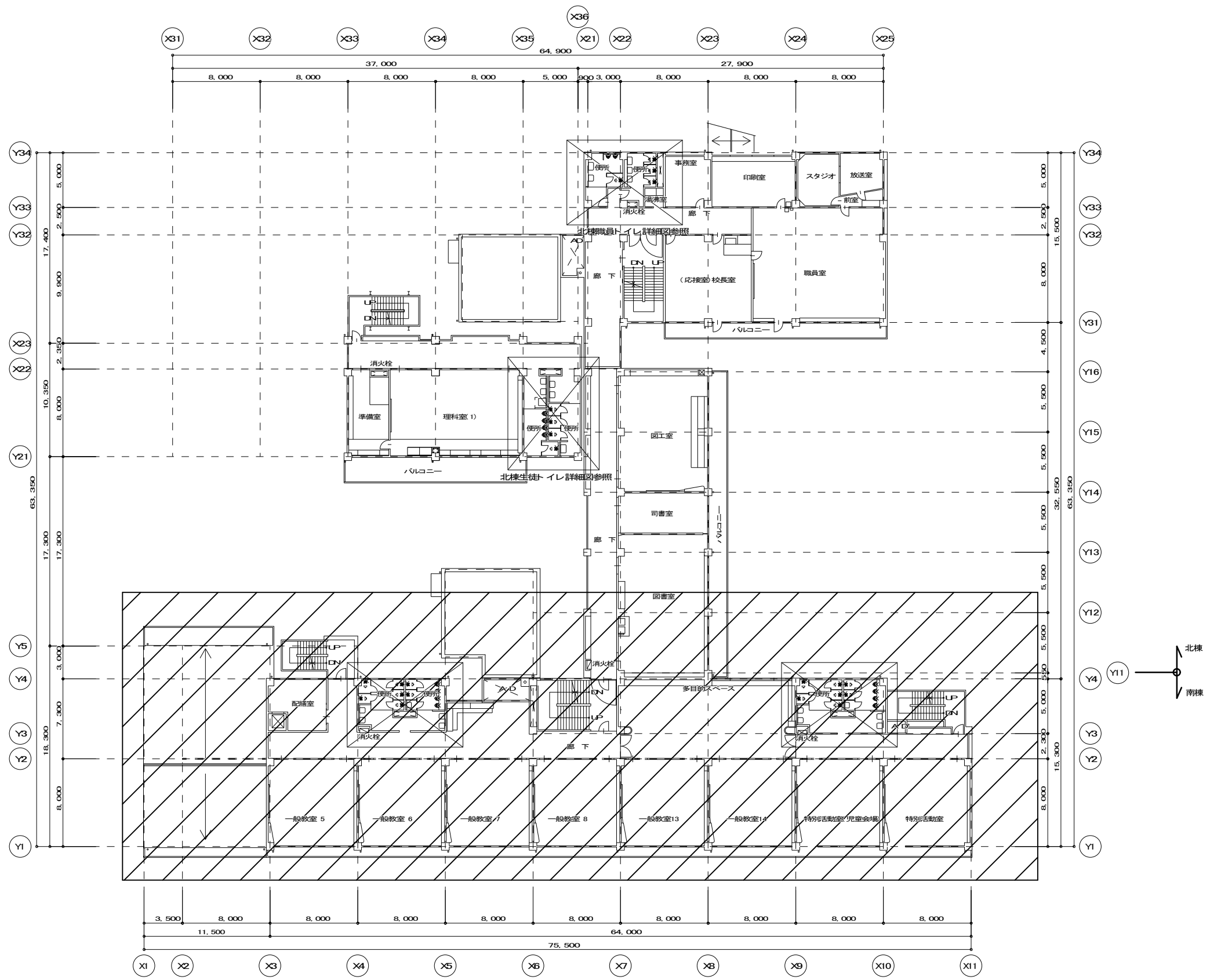
- 凡例
- - - 実線部分は、撤去を示す。
- - - 破線部分は、既設そのままを示す。
- - - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)



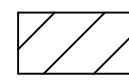
1階平面図 1/200

 別途工事範囲を示す。

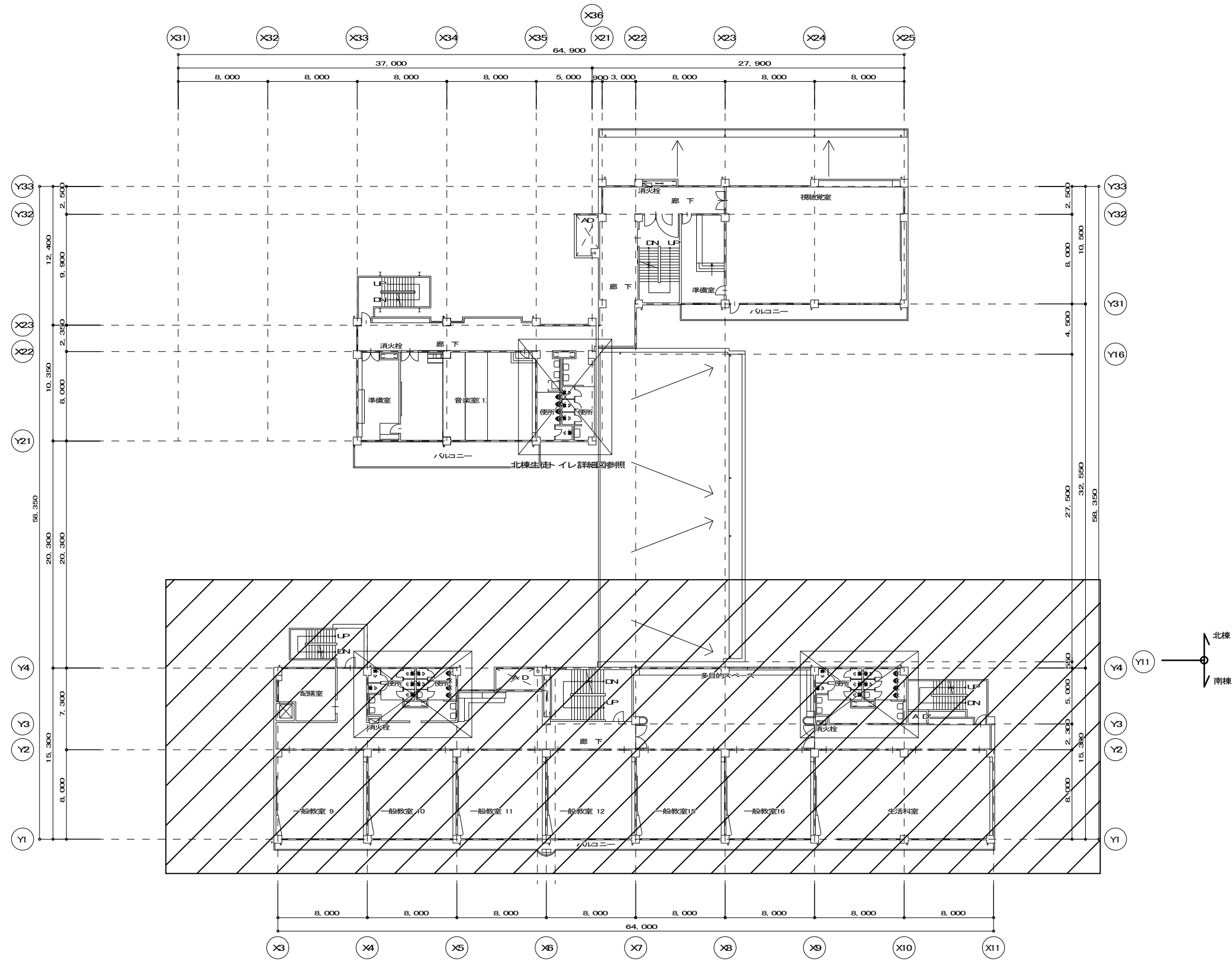
工事名		美杉台小学校校舎北棟-イレ改修工事(機械設備工事)		図面番号	P-16
図面名	換気設備 (撤去)(改修)	1階平面図	縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)	



2階平面図 1/200

 別途工事範囲を示す。

工事名 美杉台小学校校舎北棟-イレ改修工事(機械設備工事)		図面番号
換気設備 (撤去)(改修) 2階平面図		P-17
縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)	



3階平面図 1/200

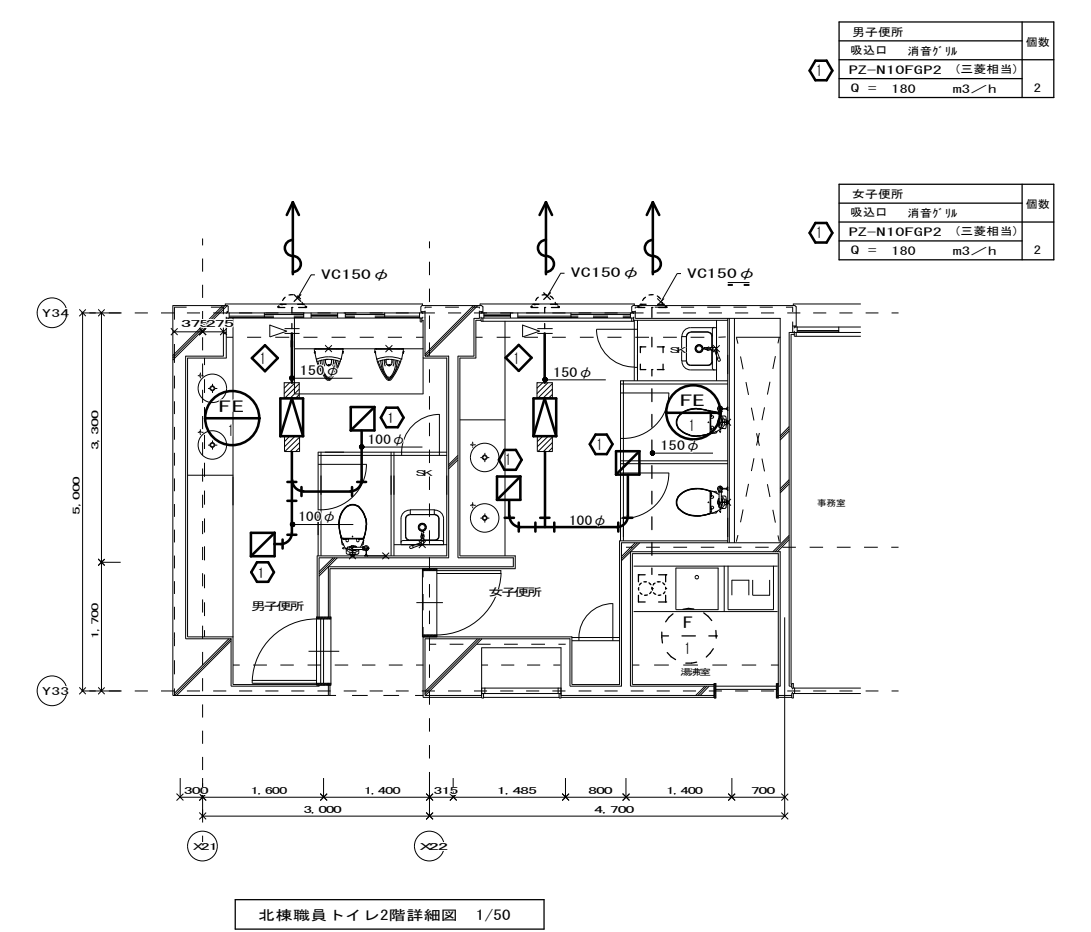
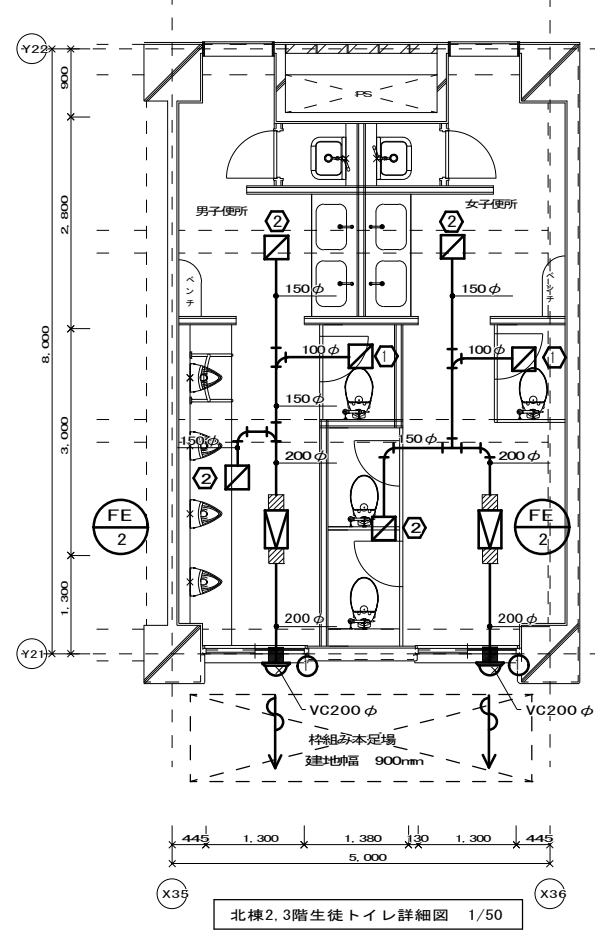
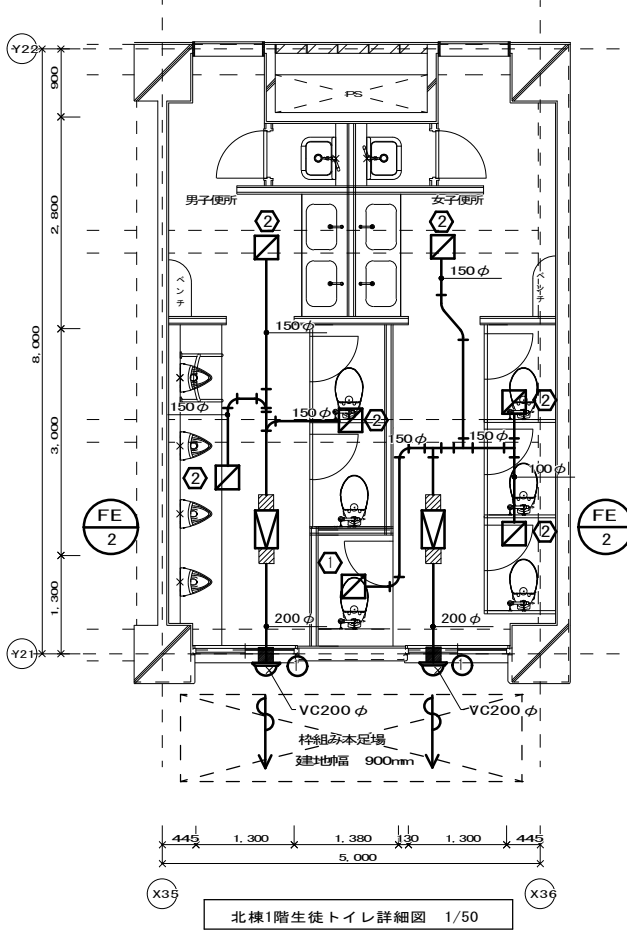
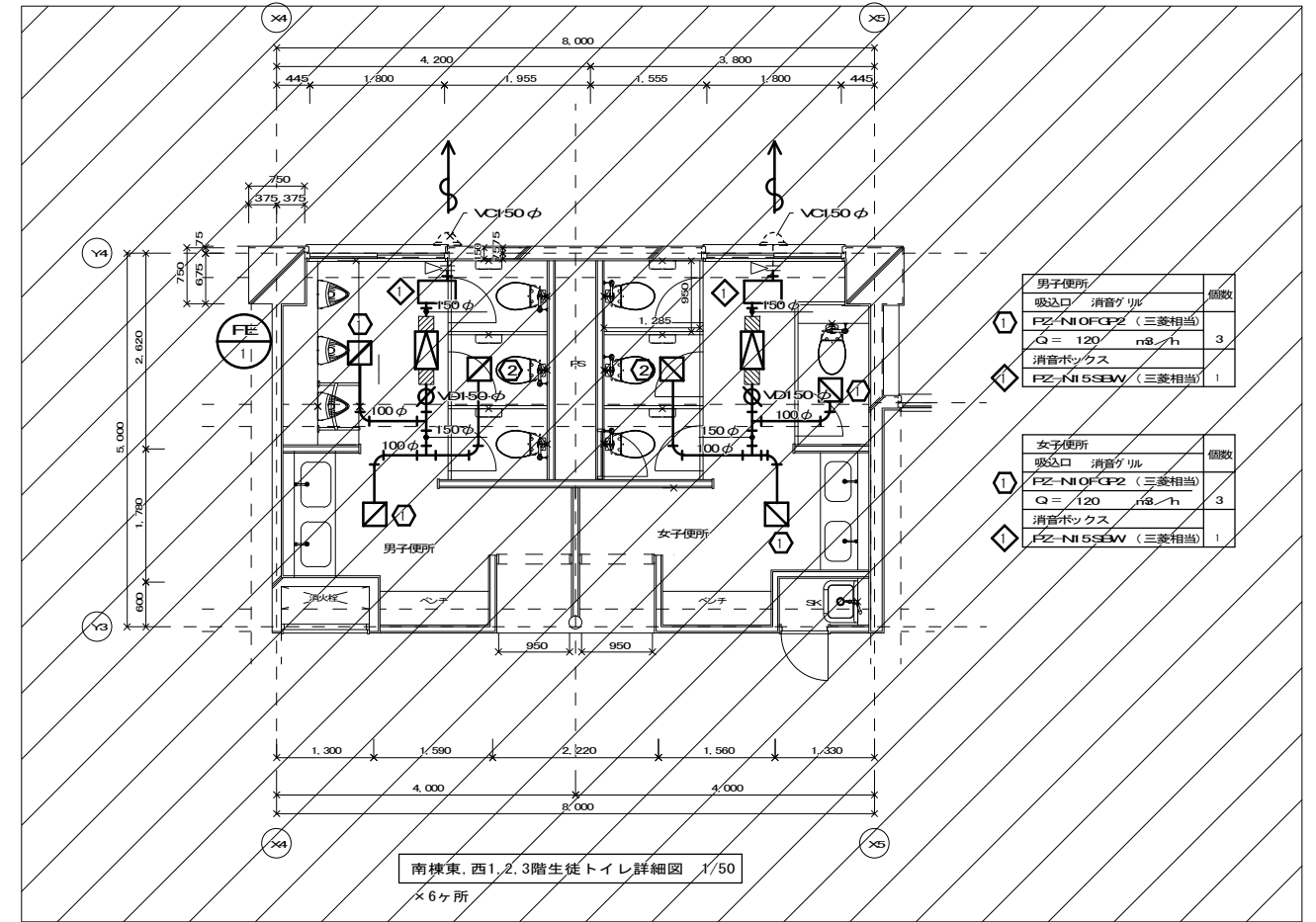
 別途工事範囲を示す。

工事名 美杉台小学校校舎北棟トイレル改修工事(機械設備工事)		図面番号
換気設備 (撤去)(改修) 3階平面図		P-18
縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)	

新設機器表

記号	品名	仕様・能力	北棟						南棟						計	合 計													
			1階		2階		3階		1階		2階		3階																
			男子 便所 1	男子 便所 1	女子 便所 1	職員用 女子便所 1	職員用 男子便所 1	女子 便所 1	男子 便所 1	女子 便所 2	男子 便所 2	女子 便所 1	男子 便所 2	女子 便所 1			男子 便所 2												
FE-1	排気ファン	形式 : ストレートシロッコファン(消音形) 能力 : $\phi 150 \times 360\text{m}^3/\text{h} \times 100\text{Pa}$ 1 $\phi \times 100\text{V} \times 26\text{W}$ 附属品 : 防振吊金物 (参考品番 三菱電機 BFS-40SUG)				1	1								2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	14		
FE-2	排気ファン	形式 : ストレートシロッコファン(消音形) 能力 : $\phi 200 \times 450\text{m}^3/\text{h} \times 100\text{Pa}$ 1 $\phi \times 100\text{V} \times 45\text{W}$ 附属品 : 防振吊金物 (参考品番 三菱電機 BFS-50SUG)	1	1	1	1																						6	6

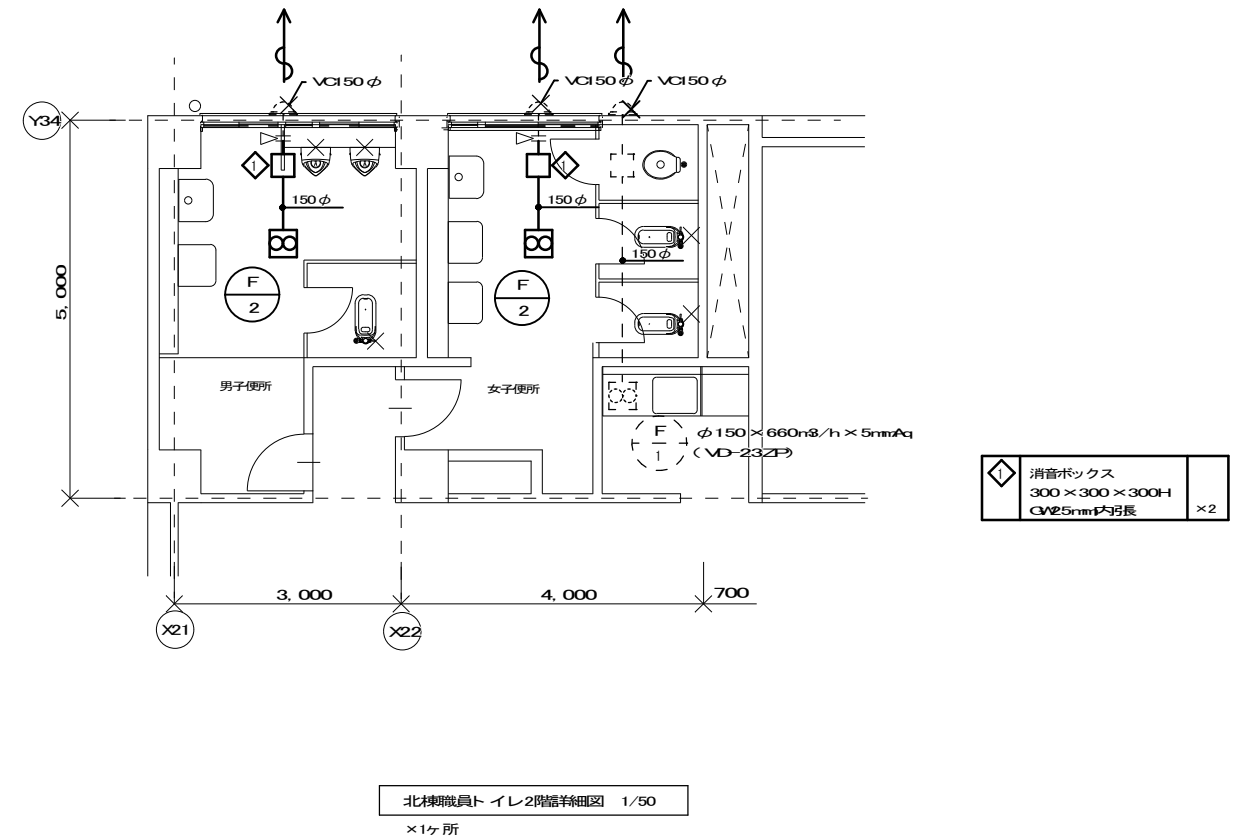
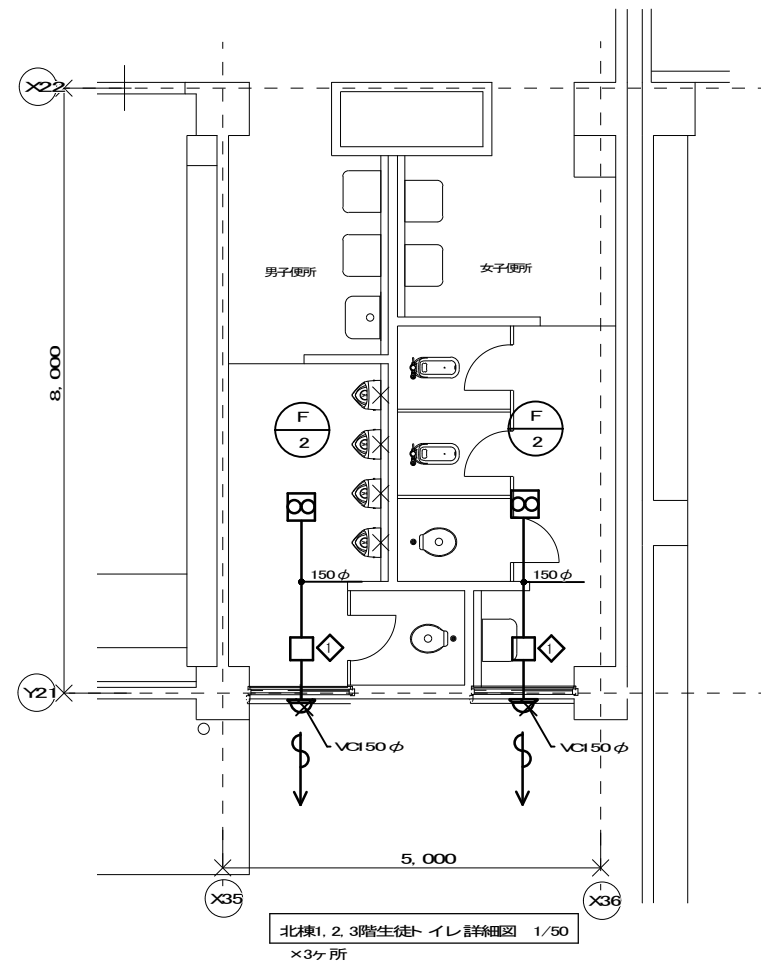
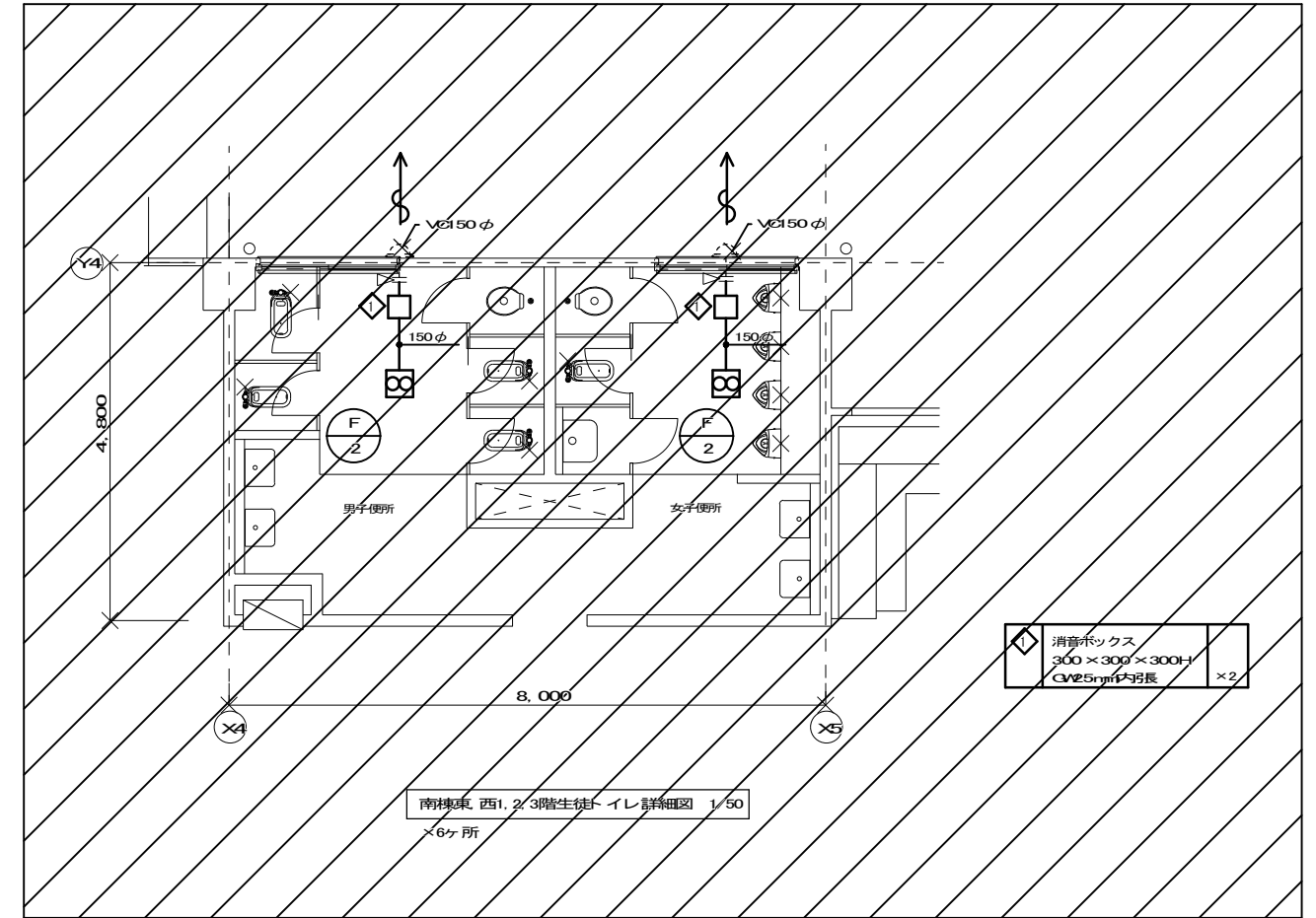
- 凡 例
- 実線部分は 新設改修を示す。
 - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 既設管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)



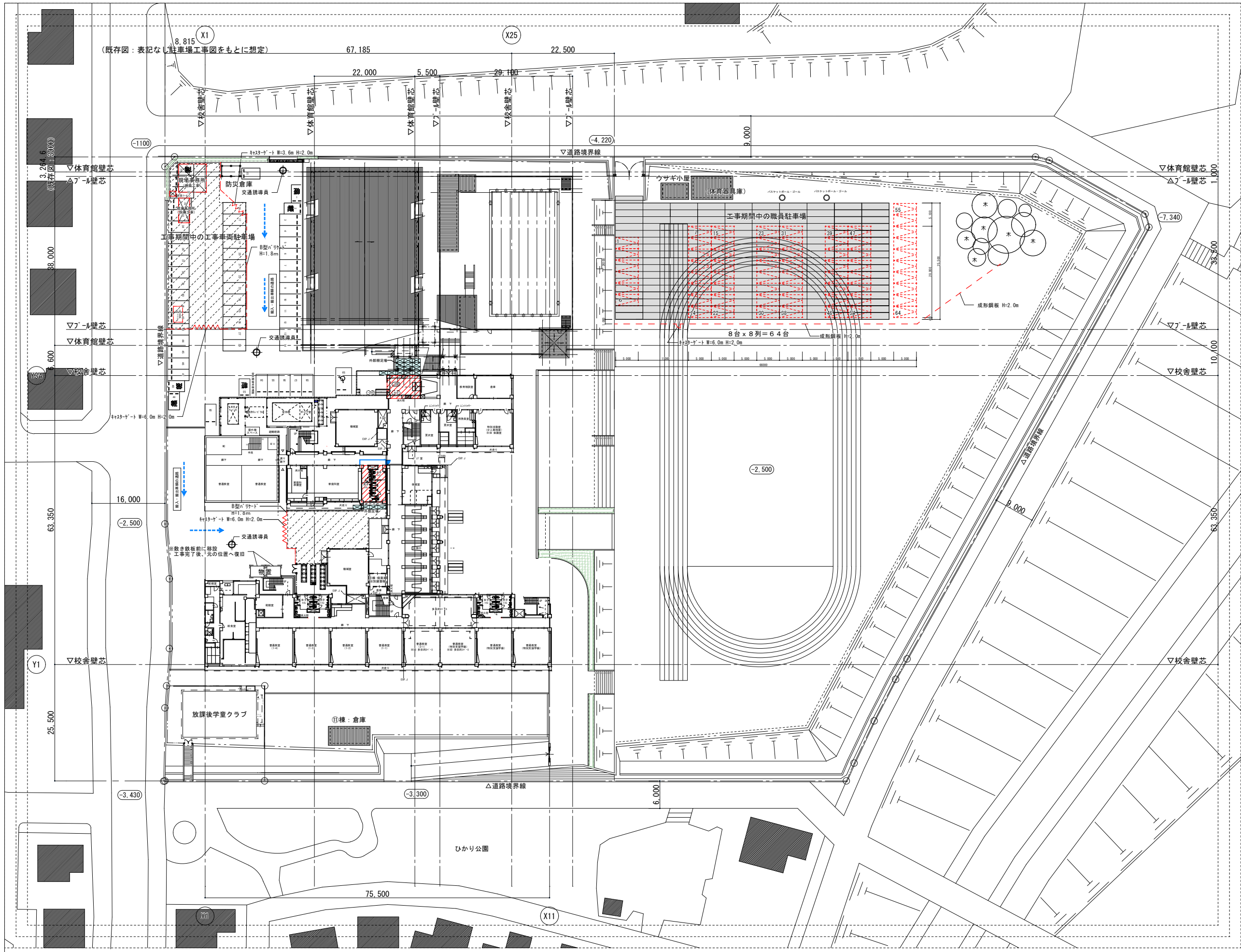
撤去機器表

記号	品名	仕様: 能力	北棟						南棟						計	合計
			1階		2階		3階	1階		2階		3階				
			女子便所1	男子便所1	女子便所1	男子便所1	管理女子便所1	管理男子便所1	女子便所1	男子便所2	女子便所1	男子便所2	女子便所1	男子便所2		
F-2	排気ファン	形式: 天井換気扇 能力: $\phi 150 \times 540\text{m}^3/\text{h} \times 50\text{Pa}$ (三菱電機 VD-23Z)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	20

- 凡例
- 実線部分は 撤去を示す。
 - 破線部分は 既設そのままを示す。
 - 既設配管の切断後再接続を示す(ねじ、フランジ部)



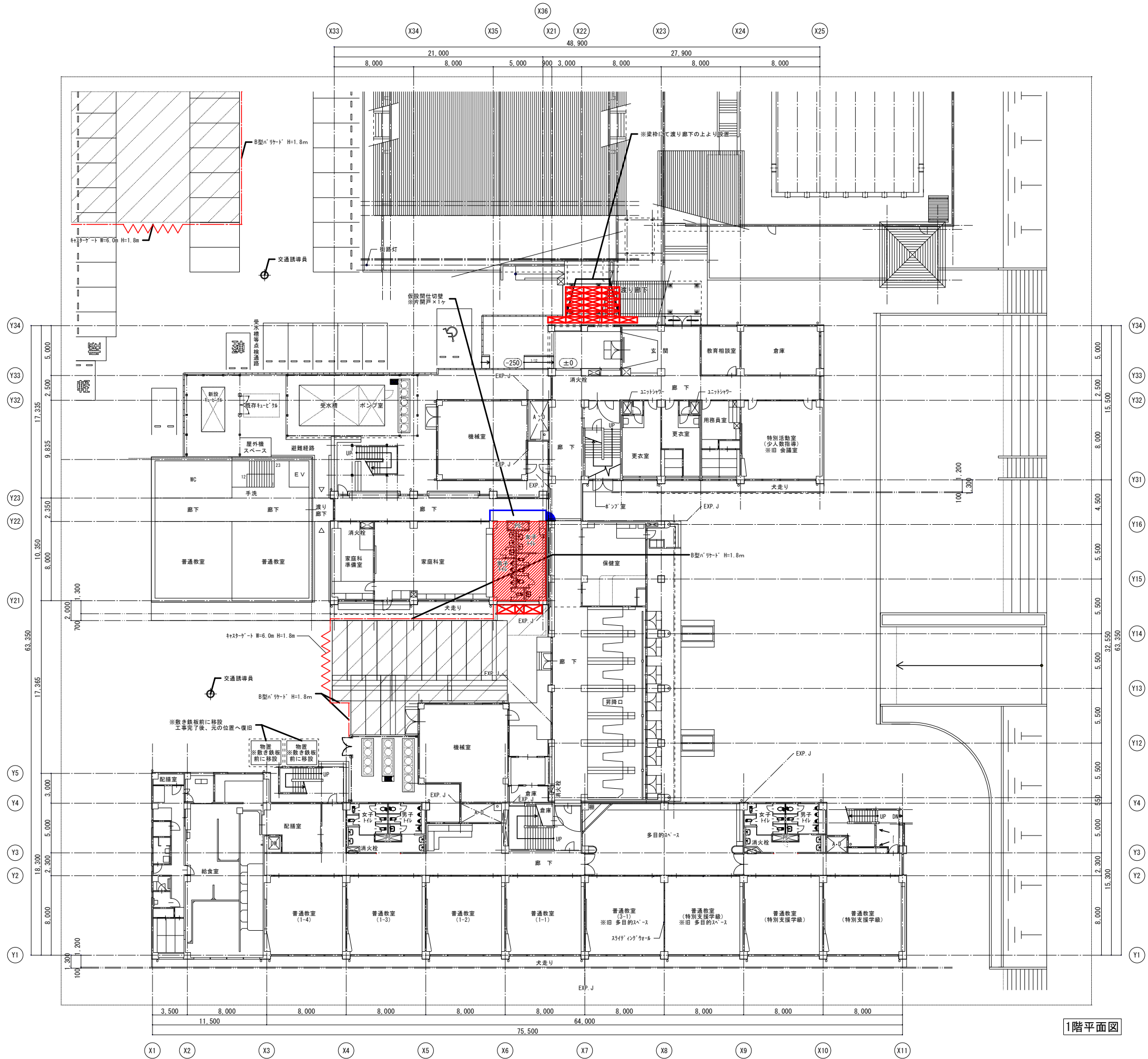
工事名	美杉台小学校校舎北棟トイレ改修工事(機械設備工事)	令和8年3月	業務番号	-	
図面名	換気設備 (撤去) 便所詳細図	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号	P-20



凡例	
	工事場所トイレを示す
	交通誘導員を示す
	脚立足場 (H=4.0m以下まで)
	床・壁：シート養生
	床・壁：シート養生(【1~1期】重複範囲)
	敷設板 t=22
	枠組本足場φ90(昇降階段) + 養生メッシュ(外周部) ※手すり先行方式
	枠組本足場φ60 + 養生メッシュ(外周部) ※手すり先行方式
	枠組φ75 W=6.0m H=2.0m 枠組φ75 W=3.6m H=2.0m
	成形鋼板H=2.0m
	通用口 片開き W=0.9m H=2.0m
	B型φ75 W=1.8m
	仮設間仕切壁： 下地LGS65形、片面プラスターボードt=9.5
	仮設間仕切壁：出入口
	通路方向

- 【特記事項】
- 仮設計画は、着工前に総合仮設計画を作成し、監督員と協議の上、承諾を得てから施工すること。
 - 別途電気・機械設備工事が同時期の工事となるため、上記の総合仮設計画を作成前に、工事間で協議を行い、各工事に大きな支障がないようにすること。
 - 工事車両の通行の際など、状況に応じ適宜、作業員による交通誘導を行なうこと。
 - 工事期間中は、職員、利用者に配慮し、必要な動線を確保すること。工事期間中の要望においても監督員と協議の上、適宜対応すること。
 - 大型のレリカ等を使用する場合は、必要な養生を行うこと。
 - 足場を設置する際、移設する必要がある植栽・花壇等は監督員と協議の上、敷地内保存し足場解体後、請負者の負担にて復旧すること。
 - 工事車両の通行の際など、既存側溝、樹、緑石、舗装等破損した場合は、請負者の負担と責任において復旧すること。
 - 工事の出入の際は、周辺住民の安全等に配慮すること。
 - 工事の出入の際は、24時間規制時間、周辺住民の安全等に配慮すること。
 - 外部足場の6L廻りは、侵入防止用にB型φ75 W=1.8mを設置すること。
 - 物置きの一時的仮設位置は、監督員と協議の決定すること。





1階平面図

凡例	
	工事範囲
	交通誘導員
	脚立足場 (H=4.0m以下まで)
	床・壁：シート養生
	床・壁：シート養生(「1」・「1期」重複範囲)
	敷設板 t=22
	枠組本足場900(昇降階段)・養生バリアシート(外周部) ※手すり先行方式
	枠組シート W=6.0m H=2.0m 枠組シート W=3.6m H=2.0m
	成形縦板H=2.0m
	通用口 片開き W=0.9m H=2.0m
	B型「リフト」H=1.8m
	仮設間仕切壁： 下地L3055形、片面プラスチックボードt=9.5
	仮設間仕切壁：出入口

【特記事項】

- ・仮設計画は、着工前に総合仮設計画を作成し、監督員と協議の上、承諾を得てから施工すること。
- ・別途電気・機械設備工事が同時期の工事となるため、上記の総合仮設計画を作成前に、工事間で協議を行い、各工事に大きな支障がないようにすること。
- ・工事車両の通行の際など、状況に応じ適宜、作業員による交通誘導を行なうこと。
- ・工事期間中は、職員、利用者に配慮し、必要な動線を確保すること。工事期間中の要望においても監督員と協議の上、適宜対応すること。
- ・大型のレリカ等を使用する場合は、必要な養生を行うこと。
- ・足場を設置する際、移設する必要がある植栽・花壇等は監督員と協議の上、敷地内保存し足場解体後、請負者の負担にて復旧すること。
- ・工事車両の通行の際など、既存樹木、樹、緑石、舗装等破損した場合は、請負者の負担と責任において復旧すること。
- ・工事の出入の際には、周辺住民の安全等に配慮すること。
- ・工事の出入の際には、24時間規制時間、周辺住民の安全等に配慮すること。
- ・外部足場の6L埋り、は侵入防止用にB型「リフト」H=1.8mを設置すること。
- ・物置きの一時的移設位置は、監督員と協議の決定すること。



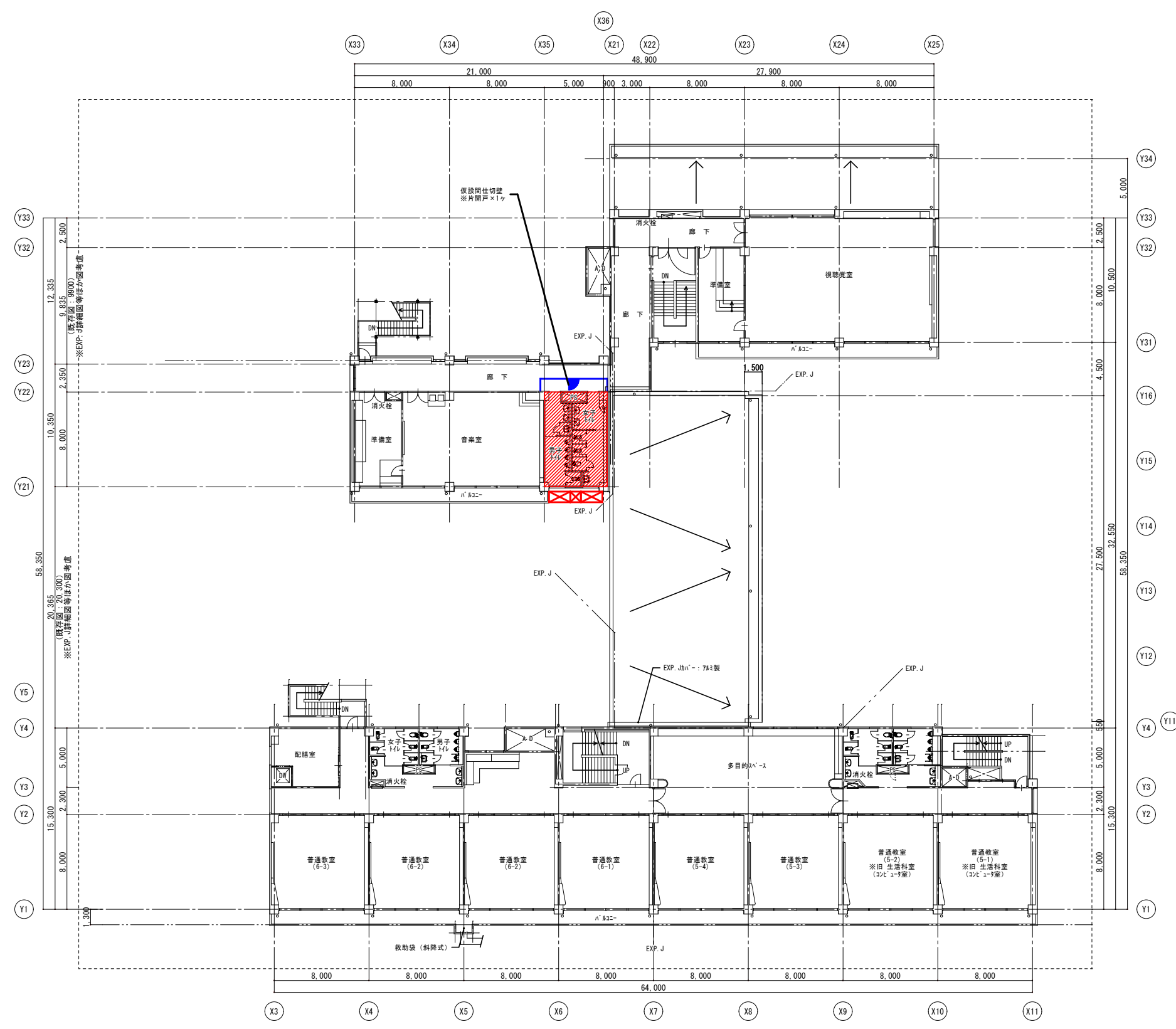
2階平面図

凡例	
	別途工事範囲
	交通誘導員
	脚立足場 (H=4.0m以下まで)
	床・壁・シートの養生
	床・壁・シートの養生(「1」+「1期」重複範囲)
	敷設板 t=22
	枠組本足場900(昇降階段)・養生パルシート(外周部) ※必ず先行方式
	おたけシート H=6.0m W=2.0m おたけシート H=3.0m W=2.0m
	成形縦板H=2.0m
	通用口 片開き H=0.9m W=2.0m
	B型「リフト」 H=1.8m
	仮設閉鎖切壁 下地は600の形・片面プラスチックボード t=9.5
	仮設閉鎖切壁→出入口
	三角コーン・コーンバー (工事エリアの表示)

- 【特記事項】
- 仮設計画は、着工前に総合設計計画を作成し、監督員と協議の上、承諾を得てから施工すること。
 - 別途電気・機械設備工事が同時期の工事となるため、上記の総合設計計画を作成前に、工事間で協議を行い、各工事に大きな支障がないようにすること。
 - 工事車両の通行の際など、状況に応じ適宜、作業員による交通誘導を行なうこと。
 - 工事期間中は、職員、利用者に配慮し、必要な動線を確保すること。工事期間中の要望においても監督員と協議の上、適宜対応すること。
 - 大型のレリカ等を使用する場合は、必要な養生を行うこと。
 - 足場を設置する際、移設する必要がある植栽・花壇等は監督員と協議の上、敷地内保存し足場解体後、請負者の負担にて復旧すること。
 - 工事車両の通行の際など、既存樹木、樹、緑石、舗装等破損した場合は、請負者の負担と責任において復旧すること。
 - 工事の出入の際、周辺住民の安全等に配慮すること。
 - 工事の出入の際は、24時間規制時間、周辺住民の安全等に配慮すること。
 - 外部足場の設置は、侵入防止用にB型「リフト」 H=1.8mを設置すること。
 - 物置きの一時的移動位置は、監督員と協議の決定すること。

	敷地出入口
	建物主入口：利用者(管理者兼用含む)
	建物入口：管理者(利用者非常時等含む)

工事名	美杉台小学校校舎北棟トイレ改修工事(建築工事)	図面番号	K-03
図面名	仮設計画図-3(参考) 2階平面図	縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)



3階平面図



凡例	
	工事範囲
	交通誘導員
	脚立足場 (H=4.0m以下まで)
	床・壁・シートの養生
	床・壁・シートの養生(「1」+「1期」重複範囲)
	敷鉄板 t=22
	枠組本足場900(昇降階段) + 養生パレット (外周部) ※必ず先行方式
	おたけシート 厚=6.0m 高=2.0m おたけシート 厚=3.0m 高=2.0m
	成形鉄板H=2.0m
	通用口 片開き 厚=0.9m H=2.0m
	B型「ガード」H=1.8m
	仮設間仕切壁 下地は600形の片面プラスターボードt=9.5
	仮設間仕切壁→出入口

【特記事項】

- 仮設計画は、着工前に総合設計計画を作成し、監督員と協議の上、承諾を得てから施工すること。
- 別途電気・機械設備工事が同時期の工事となるため、上記の総合設計計画を作成前に、工事間で協議を行い、各工事に大きな支障がないようにすること。
- 工事車両の通行の際など、状況に応じ適宜、作業員による交通誘導を行なうこと。
- 工事期間中は、職員、利用者に配慮し、必要な動線を確保すること。工事期間中の要望においても監督員と協議の上、適宜対応すること。
- 大型のレリカ等を使用する場合は、必要な養生を行うこと。
- 足場を設置する際、移設する必要がある植栽・花壇等は監督員と協議の上、敷地内保存し足場解体後、請負者の負担にて復旧すること。
- 工事車両の通行の際など、既存樹木、樹、緑石、舗装等破損した場合は、請負者の負担と責任において復旧すること。
- 工事の出入の際には、周辺住民の安全等に配慮すること。
- 工事の出入の際は、24時間規制時間、周辺住民の安全等に配慮すること。
- 外部足場の6L埋りは、侵入防止用にB型「ガード」H=1.8mを設置すること。
- 物置きの一時的移動位置は、監督員と協議の決定すること。

	敷地出入口
	建物主入口：利用者（管理者兼用含む）
	建物入口：管理者（利用者非常時等含む）

工事名	美杉台小学校校舎北棟トイレ改修工事（建築工事）	図面番号	K-04
図面名	仮設計画図-4（参考） 3階平面図	縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)